

下関市立考古博物館年報 4

—平成10年度—

1999年刊

下関市立考古博物館 年報 4

《 正誤表 》

誤 正

P24	3行	115日間	117日間
	4行	平均95人	平均93人
P26	3行	92日間	91日間
P29	5行	芸術家	美術家
	9行	平成9年	平成10年

発刊にあたって

下関市立考古博物館の第4年次を終了するにあたり、当館の平成10年度の記録をお届けします。これによって本年度の当館における施設内容や活動状況などの概要がおわかりになることと存じます。

現在公共機関の財政状況は全国的に厳しいものがありますが、本市においても同様であります。このような中であって、本館では前年度につづく整備工事としてトラックヤードの増設を実現することができました。博物館施設の完備をめざすとともに、今後とも館員一同年間活動に対処してゆく所存であります。関係各位にはさらに本館の発展のためにご指導下さるようお願い申し上げます。

1999年3月

館長 小田 富士雄



目次

1	沿革	1
2	遺跡公園等建設推進委員会組織	2
3	下関市立考古博物館の設置に関する条例	3
4	下関市立考古博物館の観覧料等に関する規則	5
5	博物館建設事業費	7
6	基本構想	8
7	常設展示	11
8	屋外展示	16
9	館内の施設	17
10	管理運営	21
	(1) 組織	
	(2) 職員	
	(3) 博物館協議会委員	
	(4) 予算	
11	調査研究	22
	(1) 先進地視察・資料調査・研修	
	(2) 研究紀要の発行	
12	展示	22
	(1) 企画展	
	(2) 小企画展	
	(3) 史跡綾羅木郷遺跡国指定30周年記念展	
13	教育普及	28
	(1) 講師派遣	
	(2) 講演会	
	(3) 体験学習	
	(4) 博物館実習生の受け入れ	
	(5) 刊行物	
	(6) 広報活動	
14	資料の貸し出し ・ 写真の貸し出し	31
15	入館者状況	32
	(1) 月別入館者数	
	(2) 都道府県別入館者数	
	(3) 学校団体	
	(4) 博物館施設使用団体	
	(5) 行政視察団体	
	(6) 任意アンケート	
16	購入図書	37
17	図書寄贈先一覧	38

1 沿革

平成2年	遺跡公園等建設推進調査委員会を設置
平成2年10月	第1回遺跡公園等建設推進委員会【概要説明・協議】
平成3年 3月	第2回遺跡公園等建設推進委員会
平成4年 1月	下関市考古資料館(仮称)の位置づけおよび活動について協議 遺跡公園等建設推進事業に伴う下関市考古資料館(仮称)建設事業計画決定
平成4年 2月	第3回遺跡公園等建設推進委員会 【下関市考古資料館(仮称)基本構想、展示計画について協議】
〃	下関市考古資料館(仮称)展示基本設計委託協議会実施
平成4年 3月	第4回遺跡公園等建設推進委員会【展示基本計画業者の審査】
平成4年 4月	下関市考古資料館(仮称)展示基本計画業者を決定
平成4年 6月	第5回遺跡公園等建設推進委員会 【下関市考古資料館(仮称)建設ならびに展示基本計画について協議】
平成4年 8月	第6回遺跡公園等建設推進委員会 【下関市考古資料館(仮称)建設基本計画案、展示基本計画について協議】
〃	第7回遺跡公園等建設推進委員会【展示構想に伴う建築実地設計について協議】
平成5年 3月	下関市考古資料館(仮称)建設開始
平成6年 6月	名称を「下関市立考古博物館」と決定
〃	主体工事完了、展示資料の選定およびレプリカ・模型の製作開始
平成6年12月	下関市議会において下関市立考古博物館設置条例を可決
平成7年 3月	下関市立考古博物館完成
平成7年5月13日	下関市立考古博物館開館

2 遺跡公園等建設推進委員会組織

	氏 名	所 属	役 職 名	備 考
委員長	多 賀 三 郎	下関市教育委員会	教育長	平成2～3年度
	石 川 啓	同 上	同上	平成4～6年度
委 員	横 山 浩 一	福岡市立博物館	館長	平成2～6年度
	金 関 恕	天理大学	教授	同上
	佐 原 眞	国立歴史民俗博物館	副館長	同上
	毛 利 正 夫	(財)日本博物館協会	専務理事	同上
	中 島 恒 雄	郷土の文化財を守る会	会長	同上
	山 田 泰 久	山口県教育委員会	文化課長	平成2～4年度
	小 松 正 憲	同 上	同上	平成5～6年度
	中 村 徹 也	山口県埋蔵文化財センター	所長	平成2～6年度
	徳 永 利 孝	下関市立向井小学校	校長	平成2～3年度
	米 崎 忠	下関市立向井小学校	校長	平成4～6年度
	福 田 常 雄	下関市立安岡中学校	教頭	平成2～3年度
	伴 恒 雄	下関市立勝山中学校	教頭	平成4～6年度
	吉 野 泰 全	下関土木建築部	建築課長	平成2～5年度
	松 田 和 夫	同 上	同上	平成6年度
	万 谷 智 義	下関市都市開発部	公園緑地課長	平成2～4年度
	縄 田 健一郎	同 上	同上	平成5～6年度
	田 中 博	下関市土木建築部	道路課長	平成4～6年度
	三 崎 成	下関市教育委員会	教育次長	平成2年度
橋 本 隆 司	同 上	同上	平成3～4年度	
畠 中 義 治	同 上	同上	平成5～6年度	

3 下関市立考古博物館の設置等に関する条例

(平成6年12月21日)
条例第39号

改正 平成9年3月31日条例第39号

(設置)

第1条 市民の教育、学術及び文化の向上に資するため、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、次のとおり考古博物館を設置する。

名 称	位 置
下関市立考古博物館	下関市大字綾羅木字岡454番地

(観覧料)

第2条 下関市立考古博物館(以下「考古博物館」という。)が展示する資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第3条 考古博物館が展示し、又は保管している資料(以下「考古資料」という。)について、学術研究等のため熟覧、模写、模造又は撮影等しようとする者は、下関市教育委員会(以下「委員会」という。)の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める特別観覧料を納付しなければならない。

(施設の使用)

第4条 委員会は、考古博物館の設置目的を達成するために必要があると認めるときは、運営に支障のない範囲で、講堂又は学習室の使用を許可することができる。

2 前項の許可を受けようとする者は、委員会規則の定めるところにより、許可の申請をしなければならない。

3 委員会は、第1項の許可(以下「使用許可」という。)に条件を付することができる。

(観覧料等の減免)

第5条 市長は、特別な理由があると認められるときは、第2条の観覧料及び第3条第2項の特別観覧料を減免することができる。

(観覧料等の不還付)

第6条 既納の観覧料及び特別観覧料は、還付しない。ただし、市長が特別な理由があると認めるときは、この限りでない。

(入館料及び使用許可の制限等)

第7条 委員会は、次の各号の一に該当する者に対しては、考古博物館への入館を拒み、又は考古博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又はそのおそれのある者
- (2) 考古資料、考古博物館の施設等をき損し、又はき損するおそれのある者
- (3) この条例又はこの条例に基づく規則に違反し、又はそのおそれのある者
- (4) 考古博物館の管理上支障があると認められる者

2 委員会は、使用許可を受けようとする者又は使用許可を受けた者が、次の各号の一に該当するときは、使用許可をせず、又は使用許可を取り消すことができる。

- (1) 前号各号の一に該当するとき。
- (2) 営利を目的とすると認められるとき。

(損害補償)

第8条 入館者は、その責めに帰すべき理由により、考古資料、考古博物館の施設等をき損し、滅失し、又は汚損した場合は、市長の定める損害の額を賠償しなければならない。

(考古博物館協議会)

第9条 法第20条の規定により、考古博物館に考古博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会は、委員10人以内をもって組織する。
- 3 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、委員会が定める。

(その他)

第10条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この条例は、市長の定める日から施行する。

(平成7年規則第27号で平成7年5月13日から施行)

附 則

(平成9年3月31日条例第48号)

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この条例は、平成10年4月1日から施行する。

別表第1

観 覧 料

区 分		1人1回につき		
		一 般	高校生・大学生	小学生・中学生
常設展示 観 覧 料	個 人	200円	100円	50円
	団 体 (30名以上)	160円	80円	40円
企 画 展 示 観 覧 料		2,000円以内で市長が定める額		

- 備考 1 常設展示観覧料とは、考古博物館が常時展示している考古資料の観覧料をいう。
2 企画展示観覧料とは、考古博物館が特別に企画し、展示する考古資料の観覧料をいう。

別表第2

特 別 観 覧 料

区 分		考古資料1点につき	
熟 覧		1日	200円
模 写 , 模 造 等		1日	1,010円
撮 影	モノクローム	学術研究を目的とする場合	1回 150円
		出版等収益を伴う場合	1回 1,510円
撮 影	カラ	学術研究を目的とする場合	1回 300円
		出版等収益を伴う場合	1回 3,040円

備考 特別の事情によりこの表によりがたい場合は、市長が別に定める。

4 下関市立考古博物館の観覧料に関する規則

(平成7年4月25日)
規則 第28号)

(目的)

第1条 この規則は、下関市立考古博物館の設置等に関する条例(平成6年条例第39号。以下「条例」という。)第2条、第3条第2項、第5条及び第6条の規定による観覧料等の徴収、減免及び還付に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(観覧料等の徴収)

第2条 条例第2条の観覧料(以下「観覧料」という。)は、別に定める観覧券と引き換えに徴収する。

2 条例第3条の特別観覧料(以下「特別観覧料」という。)は、下関市教育委員会が交付する下関市立考古博物館特別観覧許可書と引き換えに徴収する。

(観覧料等の減免)

第3条 条例第5条の規定により観覧料及び特別観覧料(以下「観覧料等」という。)を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 老人保健法(昭和57年法律第80号)に基づく医療受給者証の交付を受けている者、精神薄弱者福祉法(昭和35年法律第37号)に基づく療育手帳の交付を受けている者(付添人1人を含む。)、身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)に基づく身体障害者手帳の交付を受けている者(障害の程度が1級から4級までの者については、付添人1人を含む。)、又は戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)に基づく戦傷病者手帳の交付を受けている者のうち、当該手帳に記入されている障害の程度が項症であるもの(特別項症から第4項症までの者については、付添人1人を含む。))が観覧するとき。 全額

- (2) その他市長が特に必要と認めるとき。 そのつど市長が定める額

2 前項の観覧料等の減免を受けようとする者は、市長に下関市立考古博物館観覧料減免申請書(第1号様式)又は下関市立考古博物館特別観覧料減免申請書(第2号様式)を提出しなければならない。ただし、前項第1号に該当する者は、医療受給者証又は当該手帳を提出することによって観覧することができる。

(観覧料等の還付)

第4条 条例第6条ただし書の規定により観覧料等を還付することが出来る場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 天災その他不可抗力により、観覧又は特別観覧(条例第3条第1項の熟覧、模写、模造又は撮影等をいう。以下同じ。)ができなくなったとき。 全額

- (2) 考古博物館の修理、改築その他の管理上の理由により観覧又は特別観覧ができなくなったとき。 全額

2 観覧料等の還付を受けようとする者は、下関市立考古博物館観覧料等還付申請書(第3号様式)により申請しなければならない。

(その他)

第5条 この規則に定めるもののほか、観覧料等に関して必要な事項は、市長が定める。

附 則

この規則は、平成7年5月13日から施行する。

5 博物館建設事業費

敷地面積	13,008.39m ²	H3.3.27取得
延床面積	2,565.79m ²	
期 間	H4～6年 3ヶ年継続事業	
館 建 設		1,333,860千円
環 境 整 備		228,412千円
用 地 取 得	495,775千円	554,736千円
用 地 造 成	58,961千円	
実 施 設 計	41,530千円	55,146千円
┌ 博 物 館	32,136千円	
└ 展 示 施 設	9,394千円	
基 本 設 計	13,616千円	
休 憩 所		86,963千円
博 物 館 備 品		60,000千円
取 付 道 路		118,965千円
建設推進委員会	2,382千円	8,433千円
事 務 費	6,051千円	
合 計		2,446,515千円

6 基本構想

1. 下関市立考古博物館の必要性

近代から現代に至るまでわが国の社会は、過去の歴史に例をみないほど激しく変化を遂げています。下関市においても著しい都市化の中であって、多くの文化遺産が急速に失われつつあります。本市に残されている文化遺産の中には、私たちが日本の歴史を考えるうえで重要な価値をもつものが多くあります。本市の代表的な文化遺産のひとつである国指定の遺跡は、弥生時代2カ所、古墳時代1カ所、古代1カ所、近代2カ所の6カ所を数えます。これらの遺跡は本市の人口や面積を占める割合から、近隣の市町村より高く、本市のもつ歴史的特徴を物語っています。

なかでも、稲作を中心とする農耕文化を育んだ弥生時代は、伝統的な日本社会の基盤となり、現代に至りました。下関市においては山陰沿岸にほど近い綾羅木から安岡の低地や丘陵一帯に、弥生時代の集落跡が稠密に分布し、この中に史跡綾羅木郷遺跡、史跡梶栗浜遺跡、稗田地蔵堂遺跡など著名な遺跡が点在しています。さらに吉母浜遺跡、山口県指定史跡の中ノ浜遺跡、史跡土井ヶ浜遺跡などが北浦沿岸に連なっています。

やがていくつかの村を纏めた有力者が出現した古墳時代には、有力者を葬った前方後円墳、円形墳、方形墳とよばれるお墓が造られるようになりました。本市及び周辺地域において代表的な墳墓として知られる6基の前方後円墳は山陰沿岸に集中し、そのうち4基が安岡から綾羅木にかけて、他の2基は市内の生野町と北に隣接する豊浦町にあります。

特に、史跡綾羅木郷遺跡の立地する丘陵には若宮1号墳、上の山古墳、史跡仁馬山古墳が連なり、仁馬山古墳に隣接して植松古墳、上ヶ原古墳などの方形墳が造られました。

史跡綾羅木郷遺跡の南側を流れる綾羅木川流域の水田は、稲作農耕が本格的に開始される直前の縄文時代終末頃から小規模な水田が作られ、弥生時代から古墳時代にかけて耕作地は拡大し、古代に至り長府町に長門国府が置かれた頃、綾羅木の水田では条里制度が確立し、現代に踏襲されています。綾羅木の条里制が施工された頃、伊倉遺跡や秋根遺跡などこの地方を治めた役所が作られ大きな町として栄えました。

史跡綾羅木郷遺跡は、昭和40年(1965)秋から開始された硅砂の採掘工事で文化財の保護と産業開発のはざまの中で、市民、研究者、本市教育委員会が一体となって発掘調査を進め、同時に遺跡の保存を訴え続けました。このころ全国でも盛んに進められていた産業開発と文化財保護の問題が世論を沸かす中で、昭和44年3月11日にわが国では前例のない緊急の史跡指定が行われ、文化財保護法改正のきっかけともなり、全国の文化財保護行政の確立を促した遺跡であります。

2) 展示計画についての基本的な留意点について

- ・現代日本の起点となった弥生時代から古墳時代を中心に、下関市が果たした役割を分かりやすく展示する。
- ・弥生時代、古墳時代の理解をたすけるために、現代からタイムトンネルを通して過去に遡る展示を行う。
- ・展示の目的を達成するために、下関市内にとどまらず関連する資料を収集し、研究・展示を行う。
- ・21世紀に向けた考古博物館としてオーディオ、ビジュアル等の技術を導入し施設の充実を図る。
- ・展示の方法、設備について十分な配慮を行い、情報の収集・整備を行い市民への情報提供のために、ロビー、講堂、郷土学習室において利用を図る。
- ・展示は九州、瀬戸内、環日本海、朝鮮半島、中国など他地域との関わりを取り入れる。

◎常設展示

- ・将来の展示替えを考慮して、さまざまな展示に対応できるよう部屋の設計を行う。
- ・展示替えが容易にできるように、できるだけ固定ケースや固定パネルは置かず、可能な限り室内に柱は設けない。

◎特別・企画展示

- ・特別展示、企画展示を開催しないときも、季節展示、体験展示等の場として使用できるような設計をする。

◎学習

- ・博物館見学に先だって、講堂において映像による導入を行う。また成人向けの講座、研究会を開催する。郷土学習室において体験学習や小規模な研究講座を開催する。さらに展示室においても、ワークシートやQ&Aの活用や体験的要素を取り入れた演出を行う。

◎屋外展示

- ・見学者の各時代の理解を容易にするため、多目的広場を中継し、古墳時代、弥生時代のゾーンを明確にする。
- ・展示は整備の終了した史跡のうちから古墳の森の見学・学習、弥生の里(仮称)の遺跡確認調査及び見学のための動線を考慮し、学習する博物館(ワーキングミュージアム)の環境をつくる。

◎休憩施設

- ・史跡指定地の古墳の森には、屋外での見学と憩いの場所として利用するほか、駐車場に隣接して休憩施設ならびに洗面所を設置する。

3) 学習・研修施設センターとしての機能の充実

市民の学習・研究センターとしての機能を維持し、質の高い展示を発展させ、市民に十分な知的サービスを提供するために管理部門、学芸部門、調査部門の3部門を構成し、本館における研究を継続的に行う。

2. 目的

今や、経済大国に成長した我国は、人々の心にゆとりと潤いが求められています。そのためにも伝統的な我国の文化や文化遺産を正しく伝え、心ゆたかな市民生活を送るための環境の育成が急務であります。国を挙げて保存に取り組み、4半世紀を経た史跡綾羅木郷遺跡のもつ精神を子孫に伝え残すために、史跡に隣接して下関市立考古博物館を建設し、第2次世界大戦後に本格的に開始された埋蔵文化財の調査・研究の成果を下関市民のみならず全国の人々に公開、活用し、さらに本市の友好都市を含めた近隣諸国とも国際的な学術交流を図り、友好の輪を促進する必要があります。

そのためには、まず市民が参加する博物館として史跡指定地の古墳の森の見学、弥生の里(仮称)の遺構確認調査への参加、史跡の道の見学と関連づけ、博物館の屋外には体験学習のできる竪穴住居、古墳を復元するなど諸施設を設置し、来館した人達が積極的に参加し、楽しみながら学習する博物館(ワーキングミュージアム)を目指します。

ついで本市で行っている埋蔵文化財の発掘調査の推進にあわせて、本市との関わりのある地域の考古資料の収集・研究を行い、その成果を市民へ公開し、文化財に対する理解と啓蒙を深めていきたいと思えます。

さらに史跡や博物館を一般市民の学習の場として提供するとともに、憩いとやすらぎの場として心ゆたかな潤いのある生活の場を提供し、また国内のみならず諸外国の弥生文化、古墳文化の研究をする人達へも研究の場を提供し、学術交流を深めていきたいと思えます。

3. 特色

下関市立考古博物館では、体験学習する博物館(ワーキングミュージアム)活動を通して、文化財への理解と啓蒙を図るために、次のような特色をそなえる。

1) 建築についての留意点

- ・資料が良好な状態で保存できるようにする。
- ・来館者が気軽に入館できるようにする。
- ・来館者が見学しやすい構造、見学が終わった後に印象に残るような構造にする。
- ・展示は室内と屋外、史跡を一体とした構成にする。
- ・職員が使いやすい機能的な構造にする。
- ・資料の保存に影響のない空間では、外光(間接光)を十分取り入れ、明るい雰囲気をつくる。
- ・市民に開放され、情報を提供できるサービス機関として活用する。
- ・市民の学習の場として、施設、設備の整備、充実を行う。
- ・考古博物館の目的にかかわるイベントを開催する。

7 常設展示

エントランス

正面玄関を入るとエントランスになっており、原寸大の貯蔵用竪穴がジオラマによって再現されています。エントランスの左側では秋を迎えた弥生人の家族が、収穫した食べ物を貯蔵用竪穴に蓄えるために働いています。右側では現在（1965年頃）の考古学の研究者が弥生人の残した貯蔵用竪穴の発掘調査をしています。屋外には復元された竪穴住居があり、その後ろには弥生の里が広がり、はるか彼方には龍王山がそびえています。



監修 人物 九州大学 名誉教授 永井 昌文
衣装 大阪外国語大学 助教授 武田佐知子
犬 奈良国立文化財研究所 松井 章

タイムトンネル

下関市は中国山地の端にあたり、日本海、瀬戸内海に囲まれ、南は関門海峡を隔てて北九州と接し、海との関わりの中で、大きく移り変わっています。

タイムトンネルでは、平成・昭和、大正・明治、江戸、室町・鎌倉、平安・奈良の各時代を遡りながら下関の歴史の移り変わりを通過したのち、古墳時代、弥生時代の世界を見学していただきます。



タイムトンネル



土笛を吹く少年と少女

常設展示室

常設展示室では、弥生・古墳時代の下関市域および近接地域の歴史だけでなく、大陸との交流史をも考古資料を通して理解していただけるように、テーマ展示方式を採用しています。また、弥生・古墳時代の文化がゲーム感覚で学習できるように3D映像装置などの視聴覚機器やパソコンを設置しています。

①古墳時代の下関と古墳の副葬品

市内の古墳や古墳時代の遺跡から出土した大刀や馬具、装身具、土器、青銅器などの副葬品や生活用具を交えて展示しています。

②弥生時代のくらしと弥生土器

考古博物館に隣接する国指定史跡「綾羅木郷遺跡」の出土品を中心に、土器や石器、鉄器などの日常生活用具、勾玉などの装身具を展示。あわせて弥生時代の四季の生活パネルによって説明しています。

③海からの文化

中国や朝鮮半島との交流を示す、市内出土の土笛(陶埴)や蓋弓帽、細形銅剣、多鈕細文鏡などの実物および複製品を展示しています。また、縄文～古墳時代にかけての日本・中国・朝鮮半島間の文物交流史を年表形式で示しています。



常設展示室

④その他

・弥生土器検索

綾羅木郷遺跡から出土した弥生土器の種類・文様などをデータベース化し、索引によって検索できるようにしています。

・古墳の模型

若宮1号墳(前方後円墳)・岩谷古墳(円墳)を、内部の様子が見えるよう20分の1の大きさの模型で示しています。

・道具のゆくえ

石器や青銅器などの遺物の用途を、早押しクイズ方式により学習できるようにしています。

・弥生時代・古墳時代アラカルト[Q&A]

弥生時代および古墳時代の文化や社会を、パソコン4台を使い、楽しみながら学習できるようにしています。

・土器ジグソーパズル

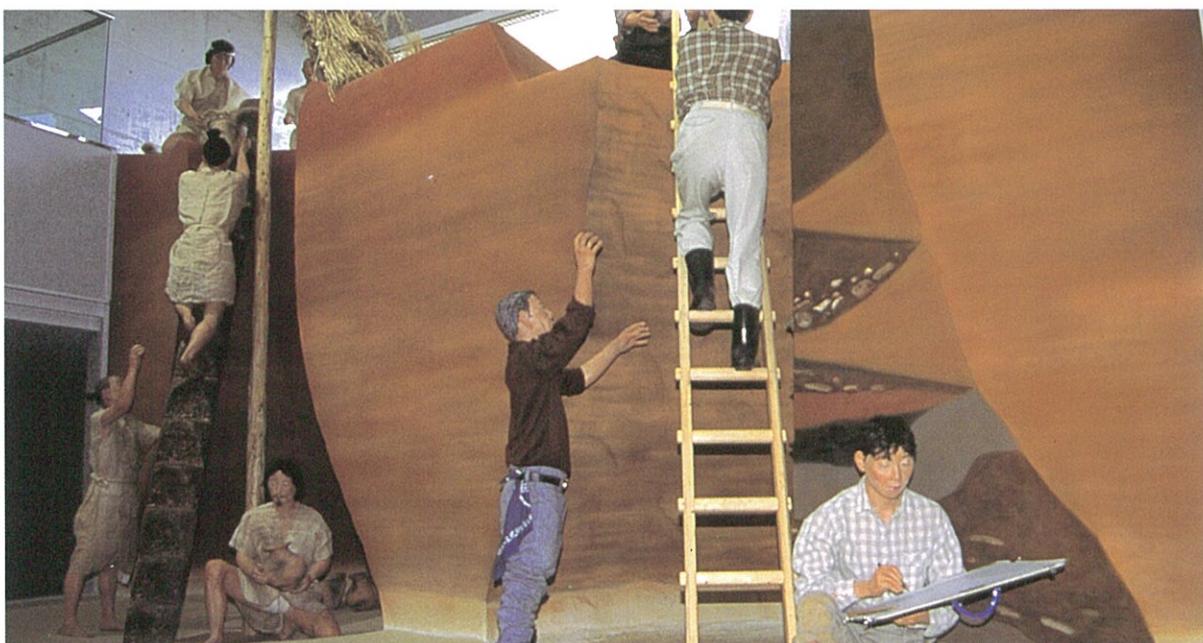
甕・壺の破片(セラミック製)を接合し、弥生土器の復元作業が体験できるようにしています。

・映像装置(模型を併用)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| a, 弥生のムラ(四季の暮らし)[3D映像] | d, 海岸での漁労風景 |
| b, 綾羅木の稲作風景 | e, 梶栗浜での埋葬風景[3D映像] |
| c, 貯蔵用竪穴 | f, 弥生土器作りの体験 |

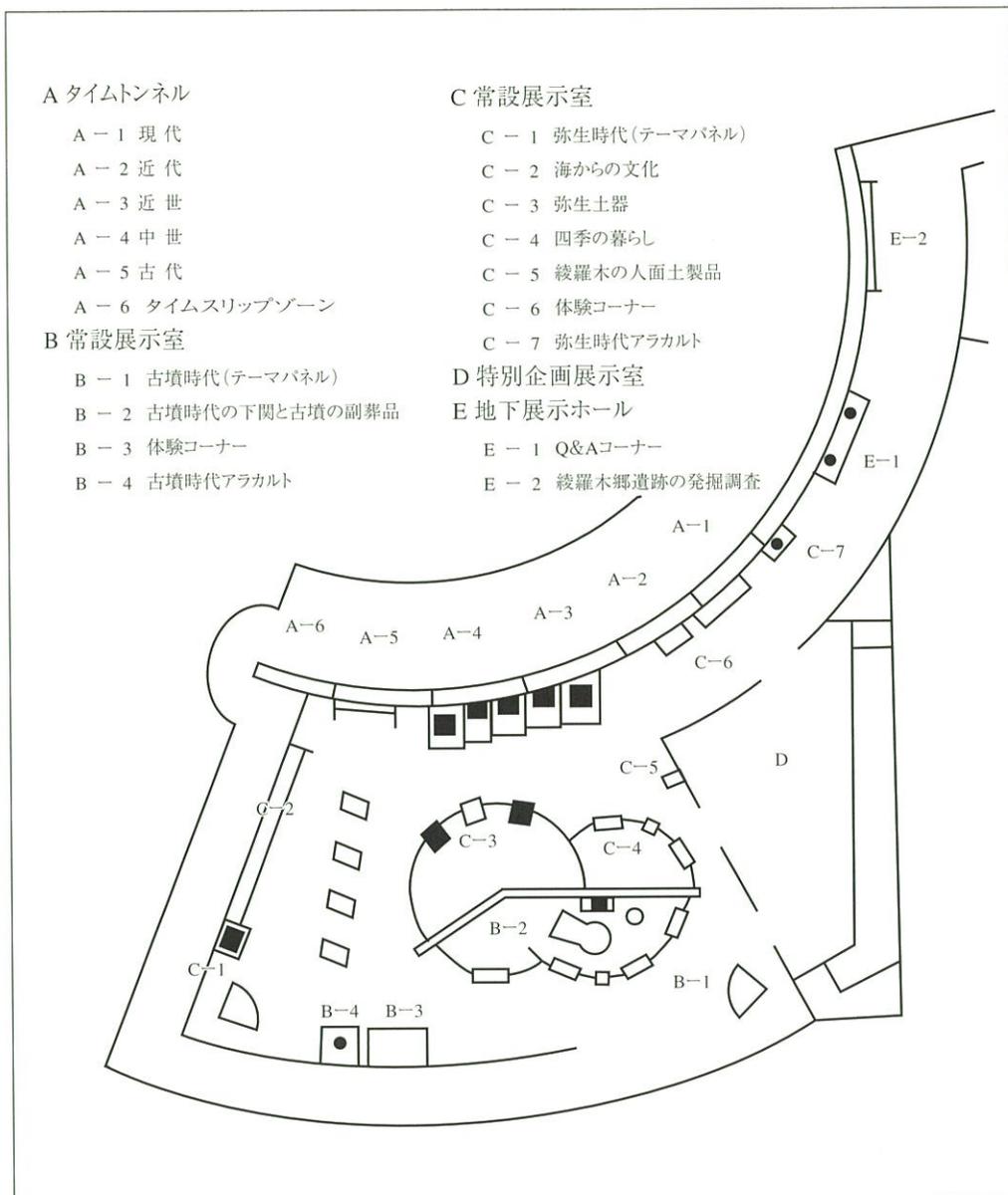
・綾羅木郷遺跡の発掘調査

昭和44(1969)年に、硅砂の採掘を目的に、綾羅木郷遺跡を破壊した業者のブルドーザーの前に、身を挺して立ちはだかったボランティアの人々の様子をグループSYSの撮影した写真パネルで紹介しています。



地下展示ホール

展示場案内



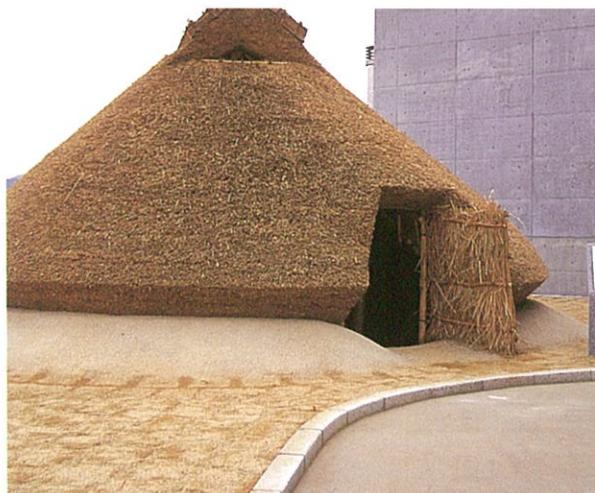
空から見た考古博物館

8 屋外展示

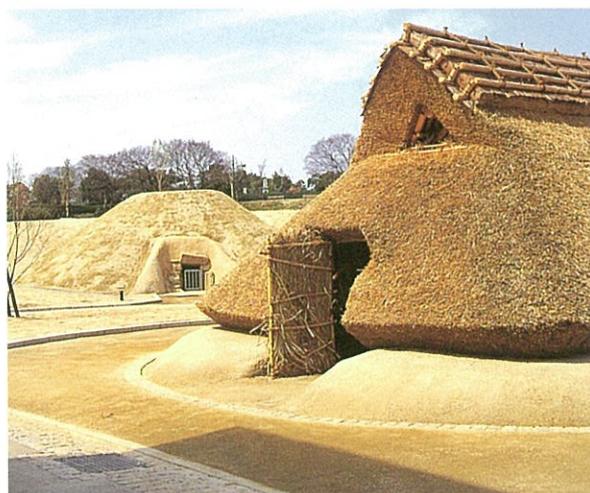
屋外には、移築した岩谷古墳や、弥生・古墳時代の竪穴住居が復元され、中に自由に入れるようになっています。また、古墳の森ゾーンとして若宮古墳群が史跡整備されています。



岩谷古墳



竪穴住居(弥生時代)



竪穴住居(古墳時代)

9 館内の施設

講堂

80名が収容できる講堂です。開館中は三面マルチビジョンを使って1時間おきに映像を放映します。また、市民を対象にした研究会や講演会、シンポジウムなどを行います。



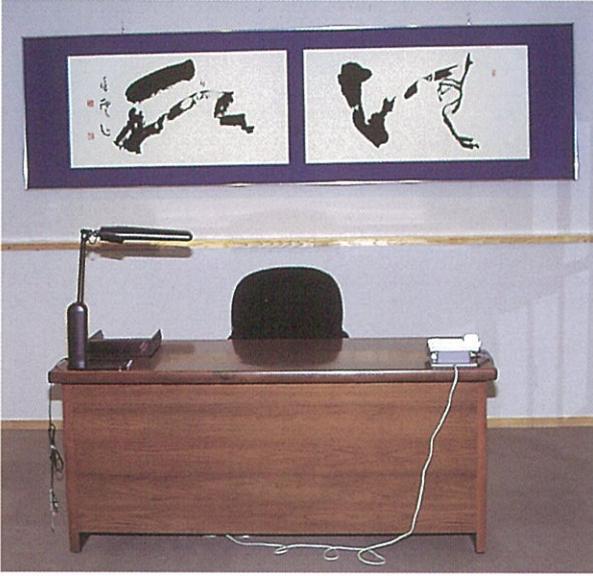
講堂

郷土学習室

史跡 綾羅木郷遺跡の古墳の森の見学・学習、そのほか四季折々を通じて体験学習を行うとともに、下関市内の遺跡や考古学に関わる学習のために、小中学生・成人を対象にした講座を開催します。また学習室の中には、郷土の遺跡を研究する資料や書籍を置き、だれでも利用できます。



郷土学習室



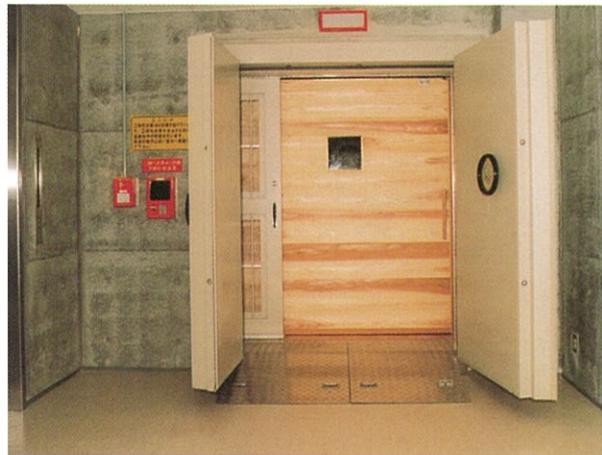
館長室



図書室



収蔵庫(上)



特別収蔵庫(入口)



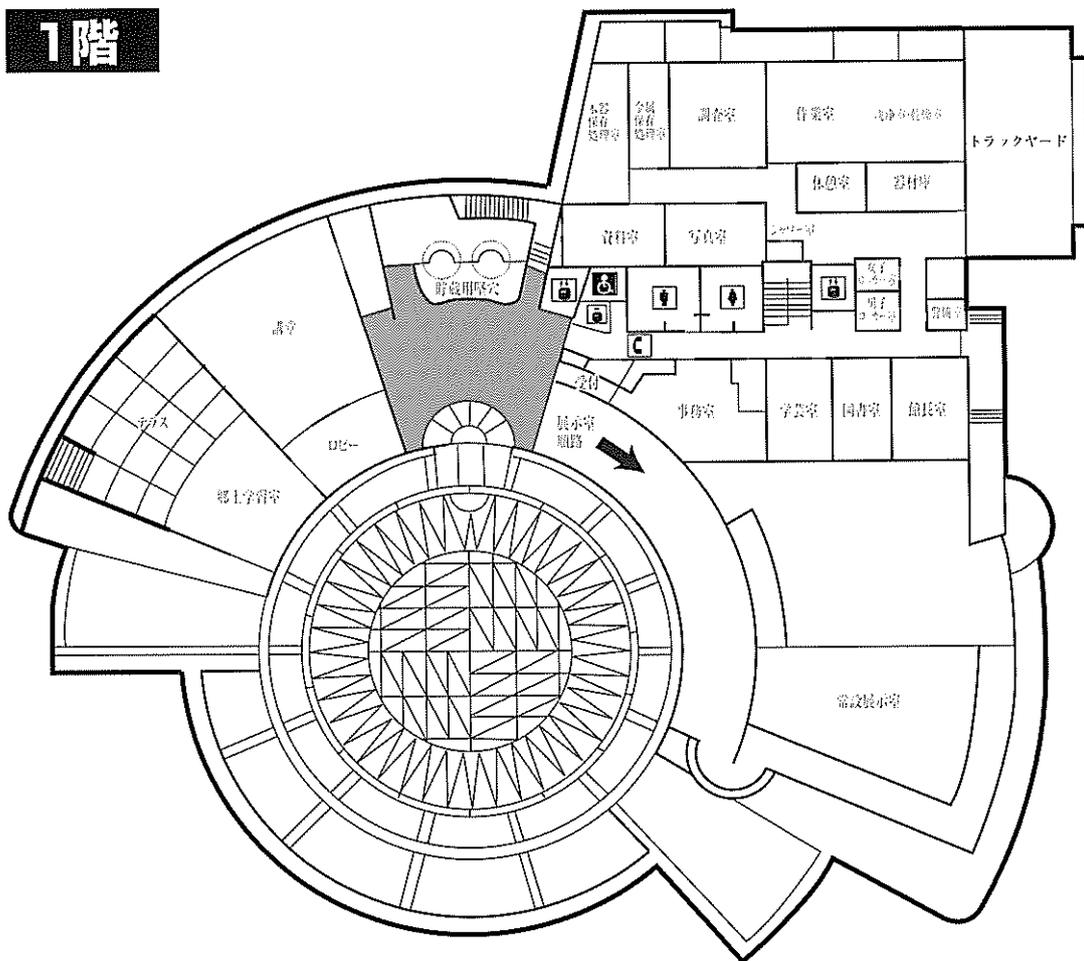
収蔵庫(下)



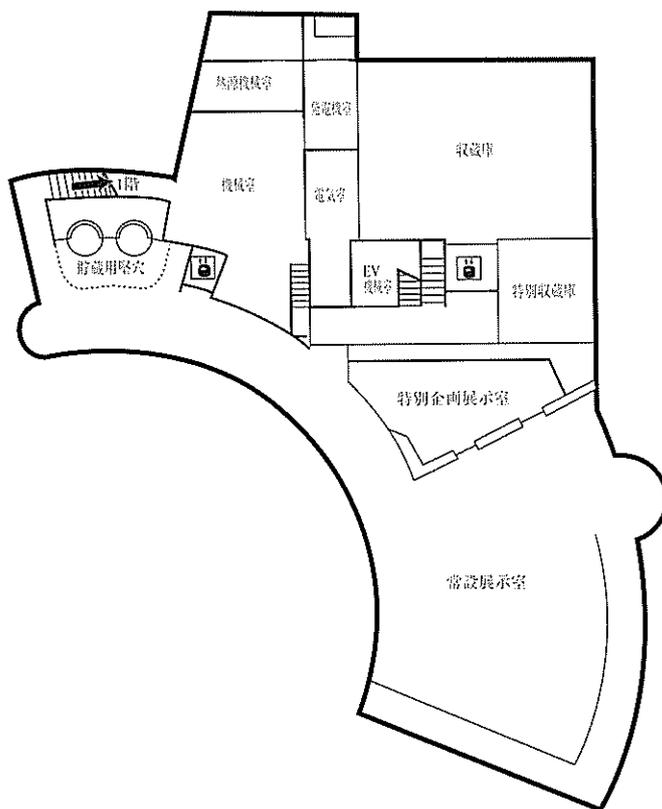
特別収蔵庫(内部)

平面図

1階



地階



各室面積

(単位: m²)

	面積		面積
A. 展示部門		D. 教育普及部門	
常設展示室	403.77	講堂	170.02
企画展示室	102.27	郷土学習室	67.03
タイムトンネル	116.09	小計	237.05
展示ロビー	74.64	E. 管理部門	
地下ホール	97.62	受付	8.68
小計	794.39	館長室	34.80
B. 収蔵部門		事務室	56.05
収蔵庫	208.50	湯沸室	7.08
特別収蔵庫	45.77	休憩室	6.91
荷捌場	38.19	更衣室	10.45
トラックヤード	97.86	シャワー室	5.29
小計	390.32	警備員室	5.46
C. 調査研究部門		小計	134.72
洗浄・作業室	89.47	F. 機械部門	
金属保存処理室	20.01	機械室	148.13
木器保存処理室	47.57	熱源機械室	32.65
資料室	31.53	発電機室	26.71
器材庫	14.48	電気室	38.94
調査員室	17.80	E V 機械室	21.38
休憩室	14.33	C O ₂ 倉庫	19.98
写真室	29.47	機械(I F)	16.06
暗室	4.02	小計	303.80
学芸員室	32.05	G. 共用部門	443.60
図書室	29.04	合計	2,663.65
小計	359.77		

敷地面積 13,008.39m²

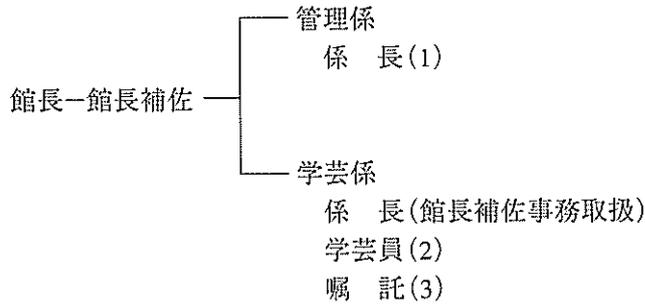
構造 鉄筋コンクリート造2階(地上1階・地下1階)

建築面積 1,875.35m²

建築延面積 2,663.65m²(1F 1,477.24m²・B1 1,186.41m²)

10 管理運営

(1) 組織



(2) 職員

館長(嘱託)	小田富士雄
館長補佐	伊藤恭三
係長	金ヶ江勝則
学芸員	澤下孝信
学芸員	東哲志
嘱託	伊東照雄
嘱託(学芸員)	山田信子
嘱託(学芸員)	上野加奈恵

(3) 博物館協議会委員

下関市立考古博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関で博物館法および下関市立考古博物館の設置等に関する条例に基づき設置されている。

委員会名簿

区分	氏名	役職名
学識経験者	金関 恕	大阪府立弥生博物館館長
	平野博之	下関市立大学名誉教授 下関市史編集委員会委員
	近藤喬一	山口大学教授
	渡辺一雄	梅光女学院大学助教授
社会教育関係者	清永只夫	下関市文化財保護審議会委員 郷土の文化財を守る会会長
	河波茅子	絹の道の会会長
学校教育関係者	網田郁雄	下関市立養治小学校校長 小学校社会科部会部長
	照寫信之	下関市立文洋中学校教頭 中学校社会科部会部長

(4) 予算

(単位:千円)

事業名	平成10年度
管理運営業務	93,336
調査研究業務	10,037
展示業務	3,961
教育普及業務	2,664
計	109,998

11 調査研究

(1) 先進地視察・資料調査・研修

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| ・保存科学学会【奈良国立文化財研究所】 | 2月 1日～ 2日 |
| ・日本博物館協会 平成10年度博物館指導者研究協議会【長野県立歴史館】 | 2月18日～19日 |
| ・先進地視察【岡山県備前陶芸美術館,鹿久居島古代体験の郷】 | 3月29日～30日 |

(2) 研究紀要の発行

平成11年3月31日『研究紀要』第3号(A4版42頁)発刊

- | | |
|-----------|----------------------|
| 〈執筆者〉伊東照雄 | 〈題名〉「下関市域における中世墓の様相」 |
| 澤下孝信・伊東照雄 | 「綾羅木郷遺跡第47次調査報告」 |
| 澤下孝信 | 附篇「綾羅木郷遺跡第46次調査報告」 |

12 展示

(1) 企画展

「下関の弥生時代—近年の発掘成果から—」

会 期 平成10年9月26日(土)～12月6日(日)

入館者 10,312人(開会日63日・1日平均164人)

内 容 下関市は山陽・山陰・北九州と連絡する地理的位置を占めていて、新しい文化の需要や時代の転換期にはいち早く対応してきた。そこで今回の企画展は、北九州や朝鮮半島とも連係する弥生時代の始まり、もう一つは、次の古墳時代に移行する段階の地位相に関する近年の調査の成果をとりあげ、近地域とのかかわりにも配慮しながら最新の知識が得られることを意図とした。

展示解説会

10月18日(日) 参加者15名

11月15日(日) 参加者22名

刊行物

ポスター B2版カラー 2,000部

チラシ A4版カラー 10,000部

解説冊子 A4版一部カラー16頁 1,500部



▲展示解説会



▲展示風景

平成10年度企画展『下関の弥生時代～近年の発掘成果から～』

展示資料【遺物資料33件44点、写真資料21点】

資料名	数	出土遺跡	所蔵者
孔列文土器	1	下関市吉母浜遺跡	下関市教育委員会文化課
孔列文土器	2	北九州市貫川遺跡	財団法人北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室
丹塗磨研壺	1	下関市延行糸里遺跡・下層	下関市教育委員会文化課
磨製石包丁	1	北九州市貫川遺跡	財団法人北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室
赤色塗彩土器	1	下関市吉田馬場遺跡	下関市教育委員会文化課
浅鉢	1	下関市柳瀬遺跡	下関市教育委員会文化課
刻目突帯文土器・深鉢	2	下関市秋根遺跡	下関市教育委員会文化課
刻目突帯文土器・深鉢	1	下関市延行糸里遺跡・下層	下関市教育委員会文化課
刻目突帯文土器・深鉢	2	下関市六連島遺跡	下関市立長府博物館
刻目突帯文土器・浅鉢	2	下関市六連島遺跡	下関市立長府博物館
刻目突帯文土器・深鉢	1	下関市松ヶ坪遺跡	下関市教育委員会文化課
刻目突帯文系土器・深鉢	1	下関市延行糸里遺跡・下層	下関市教育委員会文化課
打製石斧	2	下関市柳瀬遺跡	下関市教育委員会文化課
打製石鏃	4	下関市柳瀬遺跡	下関市教育委員会文化課
甕	1	下関市柳瀬遺跡	下関市教育委員会文化課
甕	1	下関市柳瀬遺跡	下関市教育委員会文化課
甕	1	下関市柳瀬遺跡	下関市教育委員会文化課
高坏	1	下関市延行糸里遺跡・下層	下関市教育委員会文化課
高坏	1	下関市延行糸里遺跡・下層	下関市教育委員会文化課
甕	1	下関市延行糸里遺跡・下層	下関市教育委員会文化課
壺	1	下関市延行糸里遺跡・下層	下関市教育委員会文化課
注口土器(山陰系)	1	下関市秋根遺跡	下関市教育委員会文化課
鼓形器台(山陰系)	1	下関市秋根遺跡	下関市教育委員会文化課
壺	1	下関市秋根遺跡	下関市教育委員会文化課
甕	1	下関市秋根遺跡	下関市教育委員会文化課
壺	1	下関市秋根遺跡	下関市教育委員会文化課
高坏	1	下関市秋根遺跡	下関市教育委員会文化課
高坏	1	下関市秋根遺跡	下関市教育委員会文化課
甕	1	下関市秋根遺跡	下関市教育委員会文化課
小形丸底壺	1	下関市秋根遺跡	下関市教育委員会文化課
壺	1	下関市秋根遺跡	下関市教育委員会文化課
内行花文鏡片	1	下関市柳瀬遺跡	下関市教育委員会文化課
仿製内行花文鏡	1	下関市秋根遺跡	下関市教育委員会文化課

資料名	所蔵者
写真 福岡市板付遺跡環壕集落	福岡市教育委員会
写真 北九州市長行遺跡出土糊圧痕土器	財団法人北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室
写真 福岡市板付遺跡出土丹塗磨研壺	福岡市教育委員会
写真 佐賀県唐津市菜畑遺跡全景	唐津市教育委員会
写真 佐賀県唐津市菜畑遺跡水田遺構	唐津市教育委員会
写真 下関市御堂遺跡木棺墓遺構分布状態	下関市教育委員会文化課
写真 下関市御堂遺跡木棺墓(LG010)	下関市教育委員会文化課
写真 福岡県二丈町石崎矢風遺跡支石墓全景	二丈町教育委員会
写真 福岡県二丈町石崎矢風遺跡支石墓主体(木棺)	二丈町教育委員会
写真 福岡県志摩町新町第19号支石墓	志摩町教育委員会
写真 北九州市長行遺跡出土・黒川式浅鉢片(赤色塗彩土器)	財団法人北九州市文化事業団埋蔵文化財調査室
写真 佐賀県唐津市菜畑遺跡出土・夜白式壺(彩文土器)	唐津市教育委員会
写真 佐賀県唐津市菜畑遺跡出土・突帯文土器(浅鉢)	唐津市教育委員会
写真 下関市柳瀬遺跡竪穴住居(LS005)	下関市教育委員会文化課
写真 下関市柳瀬遺跡溝(LD021)	下関市教育委員会文化課
写真 下関市秋根遺跡溝(LD066)第一層出土状況	下関市教育委員会文化課
写真 下関市秋根遺跡(LK093)	下関市教育委員会文化課
写真 下関市秋根遺跡住居跡(LS005)	下関市教育委員会文化課
写真 下関市柳瀬遺跡土坑(LX007)	下関市教育委員会文化課
写真 下関市柳瀬遺跡鏡出土状況(LX007)	下関市教育委員会文化課
写真 下関市秋根遺跡出土内行花文鏡出土状況(LG039)	下関市教育委員会文化課
写真 北九州市小倉城下屋敷跡	財団法人北九州市文化財事業団埋蔵文化財調査室

(2) 平成10年度 小企画展

「古鏡」展～下関市域の文化財シリーズⅠ～

会 期 平成10年4月21日(火)～8月30日(日) 115日間

入館者 10,938人(1日平均95人)

内 容 下関市の遺跡からの出土品をテーマとした“下関市域の文化財シリーズ”の第1段として開催した。下関市内から出土した弥生時代・古墳時代の古鏡とその供伴資料・市内に所在する古鏡一同に展示し、市内の文化財により一層の造詣を深めていただくことを目的とした。

展示解説会

6月14日(日) 参加者25名

7月19日(日) 参加者30名

印刷物 A4版解説シート(コピー):5,000枚

出品資料紹介

仿製鏡【下関市立長府博物館 蔵 (和田コレクション)】

大正15年7月26日・和田千吉氏による武蔵国荏原郡調布村大字下沼部字馬坂古墳からの採集資料。出土地点は、現在も残る地名から東京都大田区田園調布4・5丁目付近と推定され、多摩川流域の荏原台古墳群の立地する点からも矛盾はない。

直径9,0cmをはかる完形鏡である。外区には櫛歯文帯・複歯文帯・櫛歯文帯が巡り、内区には、8つの蕨手文帯系の文様がある。内区文様は、福岡県宗像市沖ノ島17号遺跡出土の変形文鏡と類似する。



▲仿製鏡(1/1)

・平成10年度 小企画展 「古鏡」展～下関市域の文化財シリーズⅠ～

展示資料【遺物資料25件273点、写真資料他22点】

資料名	数	出土遺跡	所蔵者
三角縁神獸鏡【復元品】	1	——	当館
多鈕細文鏡【複製品】	1	下関市梶栗浜遺跡	当館
細形銅劍【複製品】	2	下関市梶栗浜遺跡	当館
弥生土器・壺【複製品】	1	下関市梶栗浜遺跡	当館
連弧文銘帯鏡【複製品】	1	下関市地藏堂遺跡	当館
蓋弓帽【複製品】	2	下関市地藏堂遺跡	下関市教育委員会文化課
長宜子孫銘内行花文鏡	1	下関市柳瀬遺跡	下関市教育委員会文化課
内行花文鏡(古式複製鏡)	1	下関市秋根遺跡	下関市教育委員会文化課
小玉	157	下関市秋根遺跡	下関市教育委員会文化課
内行花文鏡	1	下関市吉田石棺	吉田八幡宮
獸形鏡	1	下関市上越石棺	当館
管玉	6	下関市上越石棺	当館
小玉	60	下関市上越石棺	当館
六鈴鏡【複製品】	1	下関市上の山古墳	当館
勾玉【複製品】	10	下関市上の山古墳	当館
管玉【複製品】	18	下関市上の山古墳	当館
鈴付釧【複製品】	1	下関市上の山古墳	当館
小環付釧【複製品】	1	下関市上の山古墳	当館
三輪玉【複製品】	1	下関市上の山古墳	当館
鏡片	1	山口県豊浦町植田遺跡	梅光女学院大学附属資料館
草葉文鏡	1	福岡県春日市須玖岡本遺跡	下関市立長府博物館
変形文鏡	1	東京都大田区馬坂古墳	下関市立長府博物館
海獣葡萄鏡	1	出土地不明	下関市立長府博物館
草葉文鏡【複製品】	1	中国・青島	当館
連弧文銘帯鏡【複製品】	1	中国・青島	当館

	資料名	所蔵者
資料	神人車馬画像鏡(切手)	後藤鎮幸氏
写真	梶栗浜遺跡発掘調査風景(昭和48年)	下関市教育委員会文化課
写真	梶栗浜遺跡箱式石棺墓	下関市教育委員会文化課
写真	梶栗浜遺跡(平成8年)	当館
写真	地藏堂遺跡遠景(昭和44年)	伊東照雄氏
写真	地藏堂遺跡鏡出土箱式石棺墓	伊東照雄氏
写真	柳瀬遺跡付近空撮	下関市教育委員会文化課
写真	柳瀬遺跡H地区7号土坑墓	下関市教育委員会文化課
写真	柳瀬遺跡H地区7号土坑墓(鏡出土状況)	下関市教育委員会文化課
写真	秋根遺跡発掘調査風景(昭和48年)	下関市教育委員会文化課
写真	秋根遺跡39号土坑墓(鏡出土状況)	下関市教育委員会文化課
写真	吉田石棺(平成10年)	当館
写真	吉田石棺遠景(平成10年)	当館
写真	上越2号石棺墓(平成10年)	当館
写真	上越石棺空撮(平成10年)	当館
写真	上の山古墳(伝・石室使用石材)	当館
写真	上の山古墳(平成10年)	当館
写真	植田遺跡遠景(平成10年)	当館
図	秋根遺跡出土鏡復元図(転載)	
拓図	奈良県天理市天神山古墳出土鏡(転載)	
拓図	馬坂古墳出土変形文鏡	
拓図	福岡県宗像市沖ノ島8号遺跡出土鏡(転載)	

(3) 史跡 綾羅木郷遺跡 国指定30周年記念

「綾羅木郷台地の足跡」展

会 期 平成10年12月15日(火)～平成11年4月4日(日) 92日間

入館者 4,404人(1日平均48人)

内 容 当館に隣接する史跡綾羅木郷遺跡が国の史跡に指定されて平成11年3月11日に30周年を迎えた。そこで、学術的にはもとより、昭和40年代の遺跡下部の珪砂採掘のために文化財保護か産業開発で大きく揺れた経緯を中心に明治32～33年の遺跡の発見から平成7年の当館の開館までの歴史を振り返り、文化財への認識を新たにさせていただく目的で開催した。

展示解説会

1月15日(金・祝) 参加者15名

2月11日(木・祝) 参加者22名

3月21日(日・祝) 参加者25名

記念講演会

3月7日(日) 聴講者117名 会場 下関市立考古博物館講堂

田村 洋氏(作曲家・山口県立大学助教授) 「古代からの贈り物～弥生土笛考～」

伊東照雄氏(下関市立考古博物館) 「綾羅木郷台地の足跡」

刊行物

A4版チラシ カラー 10,000枚



▲展示風景



▲田村氏講演風景



▲伊東氏講演風景

・史跡綾羅木郷遺跡国指定30周年記念「綾羅木郷台地の足跡」展

展示品【遺物資料4件5点 写真資料 他 52点】

資料名	数	出土遺跡	所蔵者
弥生土器・壺(伝・鍵谷徳三郎氏採集資料)	1	綾羅木郷遺跡	梅光女学院大学附属資料館
弥生土器・壺(伝・鍵谷徳三郎氏採集資料)	1	綾羅木郷遺跡	下関市立長府博物館
磨製石斧(伝・鍵谷徳三郎氏採集資料)	2	綾羅木郷遺跡	下関市立長府博物館
壺棺(昭和31年第一次発掘調査出土品)	1	綾羅木郷遺跡	下関市立長府博物館

資料名	所蔵者
写真 中原雅夫氏作の詩	当館
写真 グループSYSのメンバー	吉岡一生氏
写真 遺跡発見地として伝えられる寺屋敷地区	当館
写真 綾羅木郷台地周辺空撮(昭和33年)	当館
写真 第一次調査風景(昭和31年)	伊東照雄氏
写真 瓦砂の採掘	当館(グループSYS撮影)
写真 畑に埋もれる土器片	当館(グループSYS撮影)
写真 緊急発掘調査風景(昭和40年)	伊東照雄氏
写真 貯蔵用竪穴からの出土品	伊東照雄氏
写真 袋詰めされ製品となる瓦砂	当館(グループSYS撮影)
写真 大量に出土した弥生土器	当館(グループSYS撮影)
写真 出土品の保管場所となった西養寺	当館(グループSYS撮影)
写真 出土品の整理場所となった西養寺	当館(グループSYS撮影)
写真 採掘業者と折衝する吉村次郎氏	当館(グループSYS撮影)
写真 発掘調査に参加する下関市始源文化研究会会員	当館(グループSYS撮影)
写真 発掘調査に参加した学生	当館(グループSYS撮影)
写真 郷台地資料館開館風景(昭和41年12月)	当館(グループSYS撮影)
写真 安岡考古資料室	当館
写真 ブルドーザーの騒音の中での発掘調査	当館(グループSYS撮影)
写真 夜懐中電灯をつけての発掘調査	当館(グループSYS撮影)
写真 冬 練炭をたいての発掘調査	当館(グループSYS撮影)
写真 郷土の文化財を守る会発足のきっかけとなった市長をかこんでの座談会	当館(グループSYS撮影)
写真 ブルドーザーの前にたちはだかる調査参加者	当館(グループSYS撮影)
写真 新聞記事 昭和44年3月9日遺跡破壊事件	当館(グループSYS撮影)
写真 新聞記事 昭和44年3月10日遺跡破壊	当館(グループSYS撮影)
写真 新聞記事 昭和44年3月11日史跡指定	当館(グループSYS撮影)
写真 遺跡破壊直後の綾羅木郷台地	当館(グループSYS撮影)
写真 夜を徹しての見張り	当館(グループSYS撮影)
写真 史跡指定前の警官を動員しての警備	当館(グループSYS撮影)
写真 史跡指定の決定に喜ぶ調査参加者	当館(グループSYS撮影)
写真 史跡指定の発表	当館(グループSYS撮影)
写真 史跡指定後の遺構確認調査	当館
写真 出土品の整理作業	当館
写真 復元の終わった弥生土器	当館
写真 史跡整備後の若宮古墳群(空から)	当館
写真 考古博物館(空から)	当館
写真 金關丈夫先生	当館(グループSYS撮影)
写真 小野忠熙先生	当館(グループSYS撮影)
写真 国分直一先生	当館(グループSYS撮影)
写真 金關 恕先生	当館(グループSYS撮影)
資料 木下友敬氏作の色紙	当館
資料 トロ箱に収納された弥生土器片	当館
資料 「綾羅木郷遺跡発掘記念」手拭い	伊東照雄氏
資料 「綾羅木郷遺跡史跡指定記念」手拭い	岡本都那美氏
資料 みなと新聞社 編『二千年前の下関』(昭和42年)	伊東照雄氏
資料 新谷照人・吉岡一生・清水恒治氏撮影『写真展 郷台地遺跡』(昭和42年)	伊東照雄氏
資料 毎日新聞社下関支局 発行『郷台地遺跡』(昭和42年)	伊東照雄氏
資料 毎日新聞社下関支局 発行『史跡綾羅木郷遺跡』	伊東照雄氏
資料 瓦砂	
資料 「官報」(昭和44年3月11日)【転載】	
資料 下関市綾羅木郷台地遺跡保存要望書【写し】	
資料 『綾羅木郷遺跡 発掘調査報告第I集』(昭和56年)	

13 教育普及

(1) 講師派遣

①下関東部の文化財を守る会	7月10日	⑤保健予防課	11月 4日
②北九州市立考古博物館	7月18日	⑥安岡公民館	12月11日
③川中公民館	9月26日	⑦豊北町教育委員会	12月16日
④安岡公民館	10月16日	⑧豊北町教育委員会	12月17日

(2) 講演会

①一般教養講座(開館三周年記念)

日 時 平成10年5月10日(日)
 会 場 下関市立考古博物館 講堂
 講 師 國學院大學
 教授 小林達雄氏
 演 題 「縄文人の世界観」
 聴 講 者 88名



▲小林達雄氏 講演風景

②一般教養講座

日 時 平成10年7月25日(土)
 会 場 下関市立考古博物館 講堂
 講 師 奈良県立橿原考古学研究所
 調査第1課長 寺沢 薫氏
 演 題 「銅鐸のまつり」
 聴 講 者 89名



▲寺沢 薫氏 講演風景

③一般教養講座

日 時 平成10年9月26日(土)
 会 場 下関市立考古博物館 講堂
 講 師 山口大学
 教授 中村友博氏
 演 題 「穀霊と祖霊のまつり」
 聴 講 者 73名



▲中村友博氏 講演風景

④一般教養講座

日 時 平成10年11月15日(日)
 会 場 下関市立考古博物館 講堂
 講 師 同志社大学歴史資料館
 学芸員 辰巳和弘氏
 演 題 「夢・水・王権
 -古墳時代の“まつり”-」
 聴 講 者 63名



▲辰巳和弘氏 講演風景

(3) 体験学習

①小学生土笛作り教室

会 場 製 作 下関市立考古博物館 郷土学習室

野 焼 下関市立考古博物館 体験広場

講 師 芸術家 松岡敏行氏

・第一回 日 時 平成10年8月 8日(土) [製作]

8月 22日(日) [野焼]

参加者 30名(抽選)

・第二回 日 時 平成9年 8月 9日(日) [製作]

8月 22日(日) [野焼]

参加者 30名(抽選)

②土器作り教室(中学生以上対象)

会 場 製 作 下関市立考古博物館 郷土学習室

野 焼 下関市環境センター吉母管理場

・第一回 日 時 平成11年2月 6日(土) [製作]

2月 28日(日) [野焼]

参加者 9名

・第二回 日 時 平成11年2月 7日(日) [製作]

2月 28日(日) [野焼]

参加者 11名

③体験発掘教室

日 時 平成11年3月10日(水)～3月26日(金)

場 所 綾羅木郷遺跡(寺屋敷地区)

参加者 2名

④史跡の道クイズウォーク

日 時 平成11年3月14日(日)

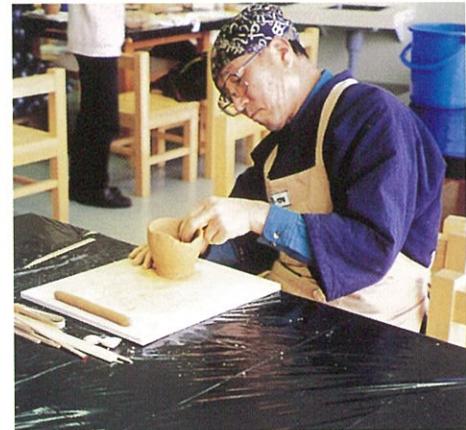
場 所 史跡の道

(秋根記念公園～梶栗浜遺跡～考古博物館)

参加者 68名



▲土笛作り教室



▲土器作り教室



▲体験発掘教室



▲史跡の道クイズウォーク

(4) 博物館実習生の受け入れ

平成9年8月18日～8月22日までの5日間、静岡大学の学生1名、梅光女学院大学の学生2名、梅光女学院大学短期大学部の学生4名、の計7名を受け入れ、博物館実習を行った。

	8/17日(月)	8/18日(火)	8/19日(水)	8/20日(木)	8/21日(金)	8/22日(土)
A	ガイダンス	1班 展示案作成	1班 遺物整理	長府博物館見学	展示案作成	展示案作成
M	館内説明	2班 遺物整理	2班 展示案作成			
P		1班 遺物整理	1班 展示案作成	美術館見学	展示案作成	レポート作成
M		2班 展示案作成	2班 遺物整理			

実習生

静岡大学社会学科 4年 福田哲郎
 梅光女学院大学 3年 仙頭百香 蓮尾有紀子
 梅光女学院大学 2年 浦田千種 香月直美
 清水美由紀 木村綾美

(5) 刊行物

①平成10年度企画展示 解説冊子

発刊日 平成10年9月26日
 体裁 A4版 16頁
 発行部数 1,500部

④下関市立考古博物館 研究紀要3

発刊日 平成11年3月31日
 体裁 A4版 42頁
 発行部数 1,500部

②下関市立考古博物館 年報4

発刊日 平成11年3月31日
 体裁 A4版 48頁
 発行部数 1,300部

⑤下関市立考古博物館だより No.3

発刊日 平成11年3月31日
 体裁 A4版 4頁
 発行部数 20,000部

③下関市立考古博物館 要覧

発刊日 平成11年3月31日
 体裁 A4版 48頁
 発行部数 200部

(6) 広報活動

平成10年度は広報紙「あやらぎ」2号を発行。下関市内の小学生5,6年生、中学校1年生の全児童・生徒、山口・広島・島根県内・北九州市内の小中学校、旅行者、関係機関等に配布、また今回は地元綾羅木地域の方に当館をより知っていただくため自治会の協力を得て各家庭への配布も行った。

企画展「下関の弥生時代—近年の発掘成果から—」ではポスター、チラシ、展示図録を発行し、全国の関係機関、市内JR、デパート他民間企業等にも配布した。

市報、新聞、広報紙、タウン誌、考古学関係雑誌などへの博物館行事掲載、テレビ、FMラジオでの取材を通しPR活動を行った。

6月3日、関門海峡観光推進協議会主催のセミナーに当館は教育施設として参加し、大阪、広島、四国地方の旅行者へPR、また、12月4日には関門トンネルウォークのイベント行事にて、参加された方に「綾羅木郷台地の足跡」展のチラシを配布。多方面のイベントへ積極的参加を行った。

14 資料の貸し出し

写真の貸し出し

- ①株式会社河出書房新社(平成10年7月27日～平成10年10月31日)
陶埴—2点、弥生土器・壺—1点
- ②株式会社オフィス・ティ(平成10年9月5日～平成10年10月5日)
史跡整備後の若宮古墳、陶埴、多鈕細文鏡・細形銅剣、博物館正面、博物館玄関—各1点
- ③株式会社ランダムコミュニケーションズ(平成10年10月5日)
博物館外観、博物館エントランス、史跡整備後の若宮古墳—各1点
- ④株式会社あかね書房、カズ企画(平成10年11月6日～平成10年12月20日)
博物館空撮、古墳時代の常設展示場、弥生時代の常設展示場、岩谷古墳、若宮1号墳—各1点、人面土製品—2点
- ⑤下関市観光課(平成10年10月20日～平成10年11月20日)
常設展示室—1点
- ⑥安城市歴史博物館(平成10年12月25日)
綾羅木郷遺跡出土弥生土器—2点
- ⑦大阪府立弥生文化博物館(平成11年2月24日～平成11年4月30日)
綾羅木郷遺跡出土土笛、綾羅木郷遺跡出土天河石製勾玉—各1点

15 入館者状況

(1) 月別入館者数

月	開館 日数	個人				団体				小計		1日平均 入館者数	合計
		一般	高大生	小中生	小計	一般	高大生	小中生	小計	有料	無料		
4	26	509	32	211	752	11	0	156	167	919	1,177	81	2,096
5	29	653	24	258	935	140	31	2,055	2,226	3,161	1,743	169	4,904
6	25	331	22	62	415	261	0	220	481	896	665	62	1,561
7	28	442	20	122	584	162	0	75	237	821	486	47	1,307
8	26	692	110	561	1,363	0	0	0	0	1,363	681	79	2,044
9	22	394	17	105	516	88	0	154	242	758	576	61	1,334
10	27	459	26	119	604	451	41	379	871	1,475	6,571	298	8,046
11	26	574	24	133	731	169	0	4	173	904	860	68	1,764
12	24	213	8	46	267	0	0	0	0	267	273	23	540
1	24	249	39	88	376	43	0	0	43	419	181	25	600
2	24	291	23	60	374	69	0	0	69	443	1,772	92	2,215
3	27	412	22	111	545	0	0	0	0	545	605	43	1,150
合計	308	5,219	367	1,876	7,462	1,394	72	3,043	4,509	11,971	15,590	89	27,561

平成7年度 合計	273	20,296	982	6,081	27,359	4,256	103	1,710	6,069	33,428	15,606	180	49,034
平成8年度 合計	302	9,333	498	3,740	13,571	2,359	109	2,054	4,522	18,093	11,431	98	29,524
平成9年度 合計	311	6,897	356	2,380	9,633	2,298	492	2,636	5,426	15,059	14,424	95	29,483

平成10年度 小企画展「古鏡」展 開催期間中入館者数

4月21日～8月30日	117	2,305	186	1,077	3,568	574	31	2,506	3,111	6,668	4,270	93	10,938
-------------	-----	-------	-----	-------	-------	-----	----	-------	-------	-------	-------	----	--------

平成10年度 企画展 「下関の弥生時代—近年の発掘成果から—」 開催期間中入館者数

9月26日～12月6日	63	1,192	63	288	1,543	620	41	383	1,044	2,633	7,679	164	10,312
-------------	----	-------	----	-----	-------	-----	----	-----	-------	-------	-------	-----	--------

史跡綾羅木郷遺跡国指定30周年記念 「綾羅木郷台地の足跡」展 開催期間中入館者数

12月15日～4月4日	91	1,127	91	325	1,543	112	0	0	112	1,655	2,749	48	4,404
-------------	----	-------	----	-----	-------	-----	---	---	-----	-------	-------	----	-------

- 臨時休館
博物館内燻蒸（平成10年9月8日～9月11日）

- 入館者
平成10年度の総入館者数は27,561名であった。市民団体の考古博物館活用として、平成10年10月4日に、「郷台地に賑わいを求める会」主催「チャリティフリーマーケット&バザー」を博物館屋外にて催し、5,570名の参加者があり、その際多くの入館者があった。



▲フリーマーケット開催時の屋外風景

(2) 都道府県別入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北海道		1					1	2	1				5
青森													
岩手	1												1
宮城													
秋田													
山形													
福島													
茨城					1				1				2
栃木							1						1
群馬													
埼玉	2				3	5	1			6	1	8	26
千葉	3			3	5	1	6	1	1	3		6	29
東京	7	4	12	6	10	13	18	7	4	12	12	11	116
神奈川	2			2	15	3		3		4			29
新潟													
富山	2						1				2		5
石川													
福井											1		1
山梨													
長野					6								6
岐阜													
静岡	1		1		2	1							5
愛知	1	1	15	5				3		2	1		28
三重					4	1							5
滋賀			2			3	1						6
京都	1		2		3		2			2	1	9	20
大阪	1	6	2	2	11	6	5	1	5		13	9	61
兵庫	2	5		2	8		3	14	1		3	6	44
奈良	2			1	8		1				1		13
和歌山											9		9
鳥取					2			1			3		6
島根	1	192	118		1	6	143	8				4	473
岡山	11	7	6		13	7		6			1		51
広島	189	1,371	65	24	24	54	300	20	3	51	63	85	2,249
山口	1,777	3,226	1,169	1,187	1,796	1,026	7,158	1,498	426	432	1,996	933	22,624
(下関市内)	1,739	2,303	989	959	1,722	880	6,938	1,336	401	367	1,932	872	20,438
徳島	4									1	1		6
香川	1			1				1					3
愛媛					3	1	1				2		7
高知	2								1				3
福岡	57	71	88	47	64	156	250	149	71	57	72	44	1,126
佐賀	23	1			2		45	3	2			1	77
長崎			79	7			7	3			1	12	109
熊本		5		4	8			3	2		2	7	31
大分	2	4	2	5	2	43	93	1	2	4	10	1	169
宮崎											2		2
鹿児島								1				1	2
沖縄		8		1								4	13
外国	4	2		10	53	8	9	38	21	26	18	9	198
合計	2,096	4,904	1,561	1,307	2,044	1,334	8,046	1,764	540	600	2,215	1,150	27,561

(3) 学校団体

・市内の学校

見学日	学校名	人数
4月18日(土)	勝山小学校	130名
4月21日(火)	山の田小学校	41名
4月21日(火)	蛸田小学校	86名
4月23日(木)	山の田小学校	40名
4月24日(金)	山の田小学校	39名
4月25日(土)	吉見小学校	58名
4月28日(火)	安岡小学校	165名
4月30日(木)	神田小学校	53名
5月1日(金)	一の宮小学校	135名
5月2日(土)	桜山小学校	87名
5月6日(水)	長府小学校	160名
5月8日(金)	王江小学校	35名
5月11日(月)	角倉小学校	105名
5月20日(水)	川中幼稚園	217名
5月21日(木)	名護中学校	91名
5月21日(木)	川中西小学校	106名
5月27日(水)	下関市養護学校	6名
5月28日(木)	関西小学校	49名
5月29日(金)	熊野小学校	159名
5月30日(土)	梅光女学院大学	15名
5月30日(土)	吉母小学校	12名
6月2日(火)	養治小学校	53名
6月4日(木)	川中小学校	131名
6月11日(木)	川中小学校	12名
6月20日(土)	向井小学校	127名
7月8日(水)	下関国際高等学校	25名
7月9日(木)	熊野小学校	40名
7月21日(火)	勝山小学校	50名
10月8日(木)	生野小学校	93名
10月9日(金)	関西小学校	39名
10月20日(火)	梅光女学院中学校	188名
10月23日(金)	安岡幼稚園	71名
10月23日(金)	もみじ幼稚園	80名
10月24日(土)	山口朝鮮高級学校	40名
10月30日(金)	勝山小学校	132名
11月6日(金)	川中小学校	12名
11月6日(金)	山の田小学校	105名
11月7日(土)	川中中学校	273名
11月11日(水)	山の田中学校	5名
1月22日(金)	下関養護学校	10名
3月9日(火)	山の田中学校	14名
3月10日(水)	生野小学校	50名

・市外の学校

見学日	県名	学校名	人数
4月23日(木)	広島	呉市立宮原小学校	72名
4月23日(木)	広島	呉市立荒神町小学校	37名
4月23日(木)	広島	広島市立袋町小学校	60名
5月7日(木)	鳥根	鹿足郡六日市町連合小学校	89名
5月7日(木)	広島	安芸郡下蒲刈連合小学校	34名
5月7日(木)	広島	呉市立昭和南小学校	71名
5月7日(木)	山口	岩国市立通津小学校	63名
5月8日(金)	鳥根	鹿足郡津和野町立本部小学校	28名
5月9日(土)	山口	山口大学 文化会 考古学部	31名
5月11日(月)	広島	呉市立昭和西小学校	79名
5月12日(火)	広島	広島市立東浄小学校	73名
5月12日(火)	広島	広島市立落合東小学校	128名
5月13日(水)	山口	岩国市立錦町連合小学校	41名
5月14日(木)	山口	岩国市立覚宮小学校	130名
5月14日(木)	山口	岩国市立平田小学校	184名
5月15日(金)	広島	広島市立大芝小学校	94名
5月15日(金)	広島	広島市立辰原小学校	54名
5月19日(火)	山口	長門市立仙崎中学校	12名
5月19日(火)	広島	広島市立三田小学校	42名
5月20日(水)	広島	呉市立鶴小中学校	47名
5月20日(水)	山口	大津郡三隅町立三隅中学校	6名
5月20日(水)	山口	長門市立深川中学校	5名
5月21日(木)	山口	岩国市立美川連合小学校	20名
5月21日(木)	広島	広島市立緑井小学校	119名
5月21日(木)	広島	広島市立中野小学校	102名
5月21日(木)	広島	呉市立仁方小学校	106名
5月21日(木)	広島	呉市立昭和東小学校	23名
5月21日(木)	広島	呉市立原小学校	51名
5月26日(火)	山口	岩国市立中洋小学校	62名
5月26日(火)	山口	岩国市立葦津小学校	35名
5月26日(火)	広島	広島市立深川小学校	88名
5月27日(水)	山口	柳井市立柳井小学校	122名
5月28日(木)	山口	岩国市立錦町小学校	108名
5月28日(木)	広島	広島市立梅林小学校	95名
5月29日(金)	広島	広島市立日浦小学校	113名
5月30日(土)	鳥根	益田市立吉田南小学校	61名
6月3日(水)	鳥根	呉市立港町小学校	62名
6月6日(土)	鳥根	鹿足郡日原小学校連合	73名
7月4日(土)	山口	豊浦郡豊浦町立誠意小学校	135名
7月5日(日)	山口	茨木市小学校連合	17名
9月4日(金)	福岡	北九州市立井堤小学校	78名
9月6日(日)	山口	佐波郡徳地町立島地中学校	39名
9月24日(木)	山口	豊浦郡瀬川町立岡枝小学校	36名
9月30日(水)	広島	呉市立両城小学校	51名
10月8日(木)	広島	呉市立磐屋小学校	17名
10月22日(木)	広島	広島市立八木小学校	94名
10月22日(木)	福岡	福岡県立柳河宮学校	6名
10月27日(火)	鳥根	鹿足郡津和野町立津和野小学校	51名
10月29日(木)	山口	豊浦郡菊川町立豊東小学校	34名
10月30日(金)	広島	広島市立巖沙門台小学校	66名
10月30日(金)	鳥根	益田市立益田小学校	87名
11月10日(火)	山口	茨木市立深川小学校	17名
11月10日(火)	山口	長門市立深川小学校	21名

(4) 博物館施設使用団体

見学日	学校名	人数
4月19日(日)	下関古代文化研究会	学習室 40名
5月13日(水)	下関保健所 保健予防課	学習室 28名
5月17日(日)	下関古代文化研究会	学習室 40名
6月7日(日)	海角句会	学習室 20名
6月21日(日)	下関古代文化研究会	学習室 40名
6月28日(日)	吟行はやと句会	学習室 20名
7月21日(火)	勝山中学校	学習室 48名
7月28日(火)	川中まちづくり協議会	学習室 25名
7月29日(水)	川中まちづくり協議会	講堂 25名
7月30日(木)	川中まちづくり協議会	学習室 25名
8月4日(火)	川中まちづくり協議会	学習室 25名
8月16日(日)	下関古代文化研究会	学習室 40名
8月22日(土)	下関市教育委員会 文化課	講堂 50名
9月15日(火)	はまゆう句会	学習室 10名
9月20日(日)	下関古代文化研究会	学習室 40名
9月26日(土)	川中市民学級	学習室 20名
10月4日(日)	下関市教育委員会 文化課	学習室 150名
10月18日(日)	下関古代文化研究会	学習室 40名
11月4日(水)	下関保健所 保健予防課	学習室 28名
12月20日(日)	下関古代文化研究会	学習室 40名
1月17日(日)	下関古代文化研究会	学習室 40名
1月29日(金)	まつかぜ句会	学習室 8名
2月21日(日)	下関古代文化研究会	学習室 40名
3月21日(日)	下関古代文化研究会	学習室 40名

(5) 行政視察団体

見学日	県名	学校名	人数
4月7日(火)	山口	下関市役所 職員課	81名
4月24日(金)	山口	下関市生活環境部 環境衛生課	54名
4月25日(土)	山口	下関郷土大学	22名
5月13日(水)	山口	下関市保健所 保健予防課	31名
5月26日(火)	山口	下関市役所 教育総務課	6名
6月10日(水)	大阪	大阪府立弥生文化博物館	1名
6月14日(火)	山口	下関市リハビリテーション協議会	80名
6月16日(火)	山口	下関市役所 生涯福祉課	30名
8月4日(火)	山口	下関光福親善スポーツ交流会	47名
8月22日(土)	山口	下関市教育委員会 文化課	30名
9月2日(水)	東京	千代田区議会	12名
9月5日(土)	中国	青島市都市給水考察団	7名
10月1日(木)	大阪	摩和田市議会	4名
10月4日(日)	山口	下関市教育委員会 文化課	150名
10月16日(金)	山口	下関市教育委員会 社会教育課	10名
10月28日(水)	東京	品川区議会	13名
10月30日(金)	山口	下関市教育委員会 社会教育課	24名
11月4日(水)	山口	機能訓練教室	30名
11月5日(木)	山口	下関市保険福祉部 児童福祉課	34名
11月18日(水)	兵庫	姫路市教育委員会	7名
11月22日(日)	韓国	釜山市親善訪問団	32名
11月24日(火)	アメリカ	ピッツバーグ市市長一行	5名
12月23日(水)	中国	青島市科学教育考察団	8名
2月2日(火)	大阪	河内長野市議会	5名
2月3日(水)	台湾	苗栗ライオンズクラブ	11名
2月9日(火)	和歌山	田辺市議会	8名
2月13日(土)	韓国	韓国文化政策開発院	8名
2月16日(火)	鳥取	鳥取市議会	3名
2月16日(火)	徳島	徳島市立考古資料館	1名
2月25日(木)	福岡	鞍手郡社会教育振興協議会	4名
2月26日(金)	高知	高知県埋蔵文化財センター	5名
3月1日(月)	福岡	太宰府市教育委員会	1名
3月2日(火)	鳥根	鳥根県古代文化センター	2名
3月3日(水)	中国	青島市友誼訪問団	1名
3月11日(木)	鳥根	鳥根県立八雲立つ風土記の丘	2名
3月11日(火)	京都	(財)京都府埋蔵文化財調査センター	2名
3月16日(火)	千葉	国立歴史民俗博物館	2名
3月16日(火)	兵庫	兵庫県立歴史博物館	1名

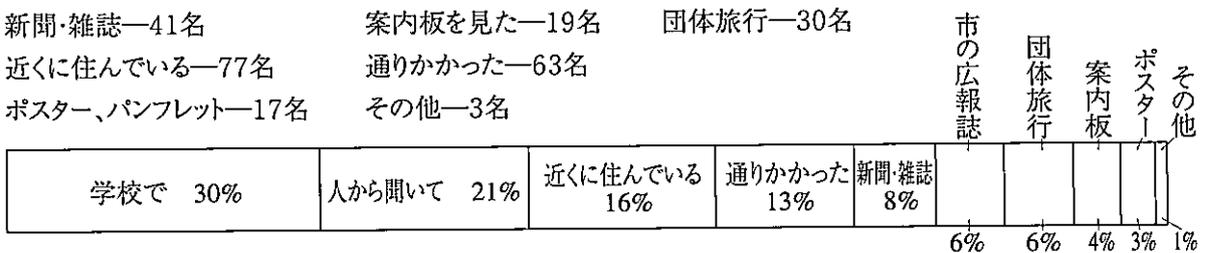
(6) 任意アンケート

郷土学習室と受付横に博物館に対しての質問を載せたアンケート用紙を置き、入館者へ任意での調査にご協力頂いた。平成10年度(平成10年4月～平成11年1月まで)のアンケート協力者は493名で全体入館者の約2パーセントであった。(重複回答あり)

内訳 *性別 男性181名 女性267名
 *年齢 小学生—210名 中学生—96名 高校生—20名
 19～29才—55名 30～49才—75名 50～69才—45名 70才以上—18名
 *市内・313名 市外・147名

① どうしてこの博物館を知りましたか?

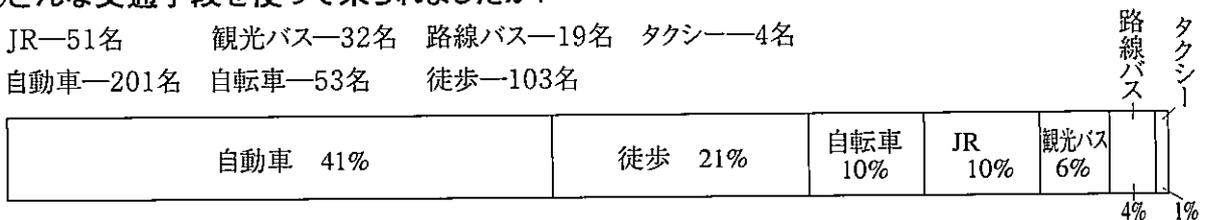
人から聞いて—104名 学校で—150名 市の広報紙—31名
 新聞・雑誌—41名 案内板を見た—19名 団体旅行—30名
 近くに住んでいる—77名 通りかかった—63名
 ポスター、パンフレット—17名 その他—3名



市内だけでなく市外の方も「人から聞いて」という回答が増えている。「学校で」の回答がもっとも多くほとんどが小学生であった。

② どんな交通手段を使って来られましたか?

JR—51名 観光バス—32名 路線バス—19名 タクシー—4名
 自動車—201名 自転車—53名 徒歩—103名



「自動車」がトップ。①の設問で「通りかかった」と答えた方では「自動車」のケースが多かった。またJRの最寄り駅から博物館は少し離れているにもかかわらず「JR」での来館も増えてきている。

③ この博物館に来るのは何回目ですか?

はじめて—276名 2回目—79名 3回目—36名 4回目—25名
 5回目—32名 それ以上—36名



④常設展示の中でよかったものに○、よくなかったものに×をつけてください。

よかったもの			よくなかったもの		
1位	パソコンのQ&A	—420名(85%)	1位	映画「大陸からの贈り物」	—72名(15%)
2位	土器パズル等体験コーナー	—406名(82%)	2位	タイムトンネル	—42名(9%)
3位	古墳時代の展示	—371名(75%)	3位	海からの文化	—36名(7%)
4位	貯蔵用堅穴と人形	—366名(74%)	4位	貯蔵用堅穴と人形	—30名(6%)
5位	弥生時代の展示	—362名(73%)	5位	屋外に復元された堅穴住居	—28名(6%)
6位	屋外に復元された古墳	—354名(72%)	6位	屋外に復元された古墳	—26名(5%)
7位	屋外に復元された堅穴住居	—349名(70%)	7位	パソコンのQ&A	—17名(3%)
8位	海からの文化	—332名(67%)	8位	土器パズル等体験コーナー	—17名(3%)
9位	タイムトンネル	—326名(66%)	8位	弥生時代の展示	—17名(3%)
10位	映画「大陸からの贈り物」	—304名(62%)	10位	古墳時代の展示	—16名(3%)

⑤博物館のよかったところ、悪かったところを書いてください。

よかったところ

展示品が豊富で整然と並んでいる。展示順路がよい。建物がきれい。コンピュータや体験コーナーが面白い。個々の箇所に視聴覚機器がたくさんある。エントランスのジオラマがリアル。入館料が安い。屋外展示の周りに緑が多い。

悪かったところ

展示室が暗い。解説が少ない。展示品が少ない。映画がよくない。土器が多く奥にある展示品が見つらい。写真、ビデオ撮影が出来ない。パソコンクイズの機械が少ない。展示解説文でわからないところがあった。

以上、この質問で特に多かった回答を集約した。

⑥博物館でしたいことは何ですか？

土器作り—64名。土笛作り—30名。古代生活体験—12名。勾玉(アクセサリ)作り—8名。古墳作り—6名。発掘体験—5名。古代人の衣装を着る—4名。石器作り3名。火おこし体験—3名。土器に触る—3名。古代食の試食—3名。はにわ作り—2名。鉄器作り—1名。角器作り—1名。弓作り—1名。堅穴住居建築—1名。

この質問は博物館で開催して欲しい体験学習についての意見である。土笛作り教室と体験発掘調査は平成8年度より行っており、平成10年度から希望の多かった土器作り教室も開催することになった。

16 購入図書

	書名	冊数		書名	冊数
1	もう二つの日本文化	1	53	文化庁月報 362～365	各1
2	アサヒグラフ 1998古代史発掘総まとめ	1	54	文化財保護行政ハンドブック	1
3	イオマンテの考古学	1	55	文物 500期総目索引	1
4	マンガ日本の歴史25～44	各1	56	日本の古代遺跡 30 山口	1
5	ヤマト王権と交流の諸相	1	57	日本の歴史1～16	各1
6	上田正昭著作集 2—古代国家と東アジア	1	58	日本古代の天皇と祭儀	1
7	上田正昭著作集 3—古代国家と宗教	1	59	日本古代史の諸問題	1
8	世界の歴史できごと事典	1	60	日本古代国家の研究	1
9	世界の歴史人物事典	1	61	日本古代国家成立史の研究	1
10	世界の歴史年表	1	62	日本古代寺院造営の研究	1
11	世界の歴史1～16	各1	63	日本古代政治史の研究	1
12	中国古代遺跡が語る稲作の起源	1	64	日本歴史 第605号～第610号	各1
13	伊勢湾と古代の東海	1	65	日本考古学史	1
14	伽耶文化図録	1	66	日本考古学論攷	1
15	伽耶通信 第10号～第20号	各1	67	日本遺跡めぐり 東日本(総説編I)	1
16	住の考古学	1	68	旧石器時代の石槍	1
17	先史日本の住居とその周辺	1	69	昭和28年 椿井大塚山古墳発掘調査報告	1
18	出土銭貨 第10号	1	70	月刊文化財発掘出土情報 '98.4～'99.3	各1
19	出雲世界と古代の山陰	1	71	月刊文化財 4 平成10年～2 平成11年	各1
20	列島の考古学—渡辺 誠先生還暦記念論集—	1	72	木簡が語る古代史 上	1
21	加耶諸国の王権	1	73	木簡—古代からのメッセージ—	1
22	加耶諸国の鉄	1	74	東アジアの古代文化 95号～98号	各1
23	十三湊遺跡	1	75	東亜古文化研究	1
24	古代の土器研究	1	76	椿井大塚山古墳と三角縁神獣鏡	1
25	古代の日本と渡来の文化	1	77	橿原考古学研究所論集 第13	1
26	古代アジアと九州	1	78	水田の考古学	1
27	古代中世の社会と国家	1	79	泉屋博古館紀要 第14巻	1
28	古代宮都の研究	1	80	瀬戸内海地域における交流の展開	1
29	古代文化 第50巻 第10号～第51巻 第3号	各1	81	生産の考古学	1
30	古代東国の民衆と社会	1	82	祭祀考古学 1	1
31	古代研究 第6輯	1	83	福岡平野の古環境と遺跡立地	1
32	古代蝦夷の世界と交流	1	84	福知山市文化財調査報告書 第35集	1
33	古代遺跡出土人骨からみたわが国の牛馬の渡来時期とその経路に関する研究	1	85	積石塚と渡来人	1
34	古墳出土須恵器集成 第1巻	1	86	網干善教先生古稀記念 考古学論集 上・下	各1
35	古墳出土須恵器集成 第2巻	1	87	縄文の生態史観	1
36	古墳時代の基礎研究稿—資料篇(1)—	1	88	縄文人のくらし1～6	各1
37	古墳時代の豪族居館をめぐる諸問題	1	89	考古学ジャーナル 428 '98～442 '99	各1
38	史跡 池上曾根95	1	90	考古学報 1999年 第1期	1
39	史跡 池上曾根96	1	91	蔚山 日山洞古墳群	1
40	和泉市久保物記念美術館・久保物記念文化財団東洋美術研究所 紀要10	1	92	蔚山 検丹里遺跡	1
41	国宝・重要文化財大全 9 考古資料	1	93	西海と南島の生活・文化	1
42	土器が語る	1	94	西漢南越王墓 上・下	各1
43	土器・墓が語る	1	95	豊前市史 考古資料	1
44	季刊 文化遺産 第5号	1	96	農耕開始期の石器組成 3	1
45	季刊 文化遺産 6	1	97	農耕開始期の石器組成 4	1
46	宮崎県史 資料編 考古2	1	98	近世の出土銭 II	1
47	封印された南宋陶磁展	1	99	銅鐸サミット&シンポジウム	1
48	尹 武炳博士 回甲記念論叢	1	100	陝川 玉田古墳群 I	1
49	島の考古学	1	101	静岡の考古学	1
50	弥生の布を織る	1	102	風土記の考古学 1～5	各1
51	弥生時代の始まり	1	103	7世紀の土器(近畿東部・東海編)	1
52	改訂 日本古代家畜史	1	104	MUSEUM 553号～558号	各1

17 図書寄贈先一覧

	書名	寄贈者
1	国史跡五郎山古墳	小田富士雄
2	歴史公論 第1巻-第1号~第11巻-第11号	後藤鎮幸
3	季刊 考古学 第25・38・42・48・56号	後藤鎮幸
4	見瀬丸山古墳と天皇陵	後藤鎮幸
5	考古学から古典を読む	後藤鎮幸
6	シンポジウム日本における稲作農耕の起源と展開	後藤鎮幸
7	魏志倭人伝・後漢書倭伝・宋書倭国伝・随書倭国伝	後藤鎮幸
8	民俗資料調査収集の手びき	後藤鎮幸
9	良渚遺跡への旅	後藤鎮幸
10	古代日本語の謎	後藤鎮幸
11	難波の宮	後藤鎮幸
12	銅鐸	後藤鎮幸
13	木簡の社会史 天平人の日常生活	後藤鎮幸
14	日本民族文化の研究	後藤鎮幸
15	古代日本の稲作	後藤鎮幸
16	アジア稲作民俗と芸能	後藤鎮幸
17	吉備王国の探究	後藤鎮幸
18	消された「隠化人たち」	後藤鎮幸
19	論集 海上の道	後藤鎮幸
20	芸術新潮 1986/10	後藤鎮幸
21	芸術新潮 1986/11	後藤鎮幸
22	芸術新潮 1987/7	後藤鎮幸
23	科学朝日 93/1	後藤鎮幸
24	別冊週刊読売 1975/7	後藤鎮幸
25	別冊週刊読売 1976/2	後藤鎮幸
26	太陽 79 4	後藤鎮幸
27	赤米伝承	後藤鎮幸
28	日本民族の起源	後藤鎮幸
29	形質人類誌	後藤鎮幸
30	南方文化誌	後藤鎮幸
31	長屋大学	後藤鎮幸
32	南の風	後藤鎮幸
33	琉球民族誌	後藤鎮幸
34	文芸博物誌	後藤鎮幸
35	考古と古代	後藤鎮幸
36	孤燈の夢	後藤鎮幸
37	まつり 考古学がさぐる日本古代の祭	後藤鎮幸
38	実在した神話	後藤鎮幸
39	鉄剣の謎と古代日本	後藤鎮幸
40	古代の技術	後藤鎮幸
41	シンポジウム縄文時代の考古学	後藤鎮幸
42	縄文人の入墨	後藤鎮幸
43	発掘から推理する	後藤鎮幸
44	木馬と石牛	後藤鎮幸
45	古鏡	後藤鎮幸
46	壺を記る村	後藤鎮幸
47	骨 日本人の祖先はよみがえる	後藤鎮幸
48	東シナ海の道	後藤鎮幸
49	台湾考古誌	後藤鎮幸
50	お月さまいくつ	後藤鎮幸
51	法隆寺献納金剛仏	水野正好
52	日韓交渉の考古学-弥生時代篇-	伊東照雄
53	財団法人アイヌ文化振興-研究推進機構助成事業案内 平成11年度版	財団法人アイヌ文化振興-研究推進機構
54	アイヌ語でイタカンロー	財団法人アイヌ文化振興-研究推進機構
55	北海道開拓の村要覧 平成10年度	(財)北海道開拓の村
56	平成7年度 年報	北海道立北方民族博物館
57	平成8年度 年報	北海道立北方民族博物館
58	人、イヌと歩く -イヌをめぐる民族誌-	北海道立北方民族博物館
59	学習のしおり(小学校3・4年編)	(財)北海道開拓の村
60	中学生のための開拓の村学習のしおり	(財)北海道開拓の村
61	北網圏北見文化センター年報 平成8年度	北網圏北見文化センター
62	北進遺跡II	北見市教育委員会
63	知床博物館研究報告 第18集	斜里町立知床博物館
64	知床の温泉	斜里町立知床博物館
65	斜里海岸砂丘の自然	斜里町立知床博物館
66	斜里・知床の近代化遺産	斜里町立知床博物館
67	鹿 DEEA	斜里町立知床博物館
68	知床博物館研究報告 第17集	斜里町立知床博物館
69	根室市博物館開設準備室紀要 第12号	根室市博物館開設準備室
70	苫小牧市埋蔵文化財調査センター概要	苫小牧市埋蔵文化財調査センター
71	苫小牧の埋蔵文化財(縄文時代-前期編)	苫小牧市埋蔵文化財調査センター

	書名	寄贈者
72	幣舞遺跡調査報告書III	釧路市埋蔵文化財センター
73	鶴ヶ岱4遺跡調査報告書	釧路市埋蔵文化財センター
74	東釧路第3遺跡	釧路市埋蔵文化財センター
75	釧路市武佐川1遺跡調査報告書	釧路市埋蔵文化財センター
76	山形県立博物館報 平成10年度	山形県立博物館
77	西ノ前遺跡の縄文ヴィーナス	山形県立博物館
78	平成9年度 地底の森ミュージアム年報-第2号-	仙台市富沢遺跡保存館
79	アクセサリーの考古学	仙台市富沢遺跡保存館
80	市民文化財研究員活動報告書2	地底の森ミュージアム
81	金属博物館紀要 29	金属博物館
82	金属博物館紀要 30	金属博物館
83	二本松城址保存管理計画報告書	二本松市教育委員会
84	定信と面僧白雲 -集古十種の旅と風景-	白河市歴史民俗資料館
85	紀要 X VIII -20周年記念論集-	(財)若手書文化財振興事業団埋蔵文化財センター
86	花巻城跡 -平成4,5,6年度本丸発掘調査概報-	花巻市教育委員会
87	花巻城跡 -平成6年度三之丸発掘調査報告書-	花巻市教育委員会
88	平成9年度 花巻市内遺跡発掘調査報告書	花巻市教育委員会
89	陸前高田市の指定文化財	陸前高田市教育委員会
90	貝畑貝塚発掘調査報告書	陸前高田市教育委員会
91	史跡中沢浜貝塚 '93	陸前高田市教育委員会
92	堂の前貝塚発掘調査報告書1	陸前高田市教育委員会
93	年報 第15号 平成9年度	八戸市博物館
94	青森県立郷土館報 第25号 1998	青森県立郷土館
95	遺跡・遺物から何を読みとるか(1)資料集	帝京大学山梨文化財研究所
96	南西田遺跡調査報告書	帝京大学山梨文化財研究所
97	塩川下河原堤防遺跡発掘調査報告書	蕪沢市教育委員会
98	埋蔵文化財センター年報 第8号(平成10年度)	(財)栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
99	いまいち市史 資料編・近現代IV	今市市歴史民俗資料館
100	いまいち市史 通史編III	今市市歴史民俗資料館
101	掘り出された古代の小山	小山市立博物館
102	酒と文化	小山市立博物館
103	小山市立博物館報 第15号 平成9年度版	小山市立博物館
104	器財はにわの世界 -関東の器財増殖-	栃木県立もつじ土記の丘資料館
105	栃木県立もつじ土記の丘資料館年報 第12号(平成9年度版)	栃木県立もつじ土記の丘資料館
106	栃木をひらく-平成の発掘から-開発と埋蔵文化財	栃木県立博物館
107	栃木県立博物館研究紀要 第15号	栃木県立博物館
108	博物館指導者研究協議会報告書 -平成9年度-	(財)日本博物館協会
109	第45回 全国博物館大会報告書 -平成9年度-	(財)日本博物館協会
110	くにたち郷土文化館年報 第2号	くにたち郷土文化館
111	学園都市くにたち -誕生のころ	くにたち郷土文化館
112	縄文中期のムラ -多摩川中流域を中心として-	くにたち郷土文化館
113	八王子市埋蔵文化財年報 平成9年度	八王子市教育委員会
114	宮の前遺跡	八王子市教育委員会
115	南八王子地区遺跡調査報告 12	八王子市教育委員会
116	滝山高塚遺跡	八王子市教育委員会
117	尾崎遺跡	八王子市教育委員会
118	美山町赤根遺跡	八王子市教育委員会
119	中郷遺跡	八王子市教育委員会
120	八王子市Na120遺跡	八王子市教育委員会
121	塚場遺跡第2次発掘調査報告書	八王子市教育委員会
122	出光博物館館報 102~105	出光博物館
123	出光美術館研究紀要 第4号	出光美術館
124	袋地遺跡II	北区教育委員会
125	七社神社前遺跡 II	北区教育委員会
126	國學院大学日本文化研究会紀要 第82輯	國學院大学日本文化研究所
127	物見処遺跡 1998	國學院大学日本文化研究所
128	國學院大学日本文化研究所紀要 第81輯	國學院大学日本文化研究所
129	國學院大学日本文化研究所紀要 総目次 第1輯~第80輯	國學院大学日本文化研究所
130	久保遺跡発掘調査報告	大田区教育委員会
131	大田区立郷土博物館紀要 第8号	大田区立郷土博物館
132	芹沢 介作品展	徳島県立大学日本文化研究所
133	製作工程の考古学	徳島県立大学日本文化研究所
134	おもちゃの絵の世界	天理ギャラリー
135	文京ふるさと歴史館年報 第1号	文京ふるさと歴史館
136	神明町貝塚	文京区教育委員会
137	真砂遺跡VI地点	文京区教育委員会
138	金程向原遺跡III	日本大学文学部史学研究室
139	明治大学博物館研究報告 第3号	明治大学博物館事務室
140	明治大学博物館 年報 1997	明治大学博物館準備室

	書名	寄贈者
141	江戸駿河台の旗本屋敷跡	明治大学博物館準備室
142	世界のカブトムシ・クワガタムシとそのなかま	杉並区立郷土博物館
143	上野恩賜園遺跡群発掘調査報告書	東京国立文化財研究所
144	人類誌集報 1998	東京国立大学考古学研究室
145	舟渡遺跡第2地点発掘調査報告書	板橋区教育委員会
146	前野兎谷遺跡	板橋区教育委員会
147	松月院境内遺跡発掘調査報告書	板橋区教育委員会
148	三ツ木村の皇国地誌	武蔵村山市教育委員会
149	村山で作られていた押絵羽子板	武蔵村山市歴史民俗資料館
150	吉祥寺南町1丁目遺跡1地点	武蔵野市教育委員会
151	平成8年度 武蔵野市埋蔵文化財調査報告書	武蔵野市教育委員会
152	吉祥寺南町三丁目遺跡B地点	武蔵野市教育委員会
153	御殿山遺跡	武蔵野市教育委員会
154	平成8年度 武蔵野市埋蔵文化財調査報告書	武蔵野市教育委員会
155	吉祥寺南町三丁目遺跡B群	武蔵野市教育委員会
156	港区文化財調査集録 第4集	港区教育委員会
157	旗本 田中慶敷跡遺跡発掘調査報告書	港区教育委員会
158	港郷土資料館館報 16	港区立港郷土資料館
159	狛江市埋蔵文化財調査概報Ⅲ	狛江市教育委員会
160	古足立中村南遺跡	狛江市教育委員会
161	狛江市埋蔵文化財調査概報Ⅱ	狛江市教育委員会
162	経塚古墳遺跡発掘調査報告書	狛江市教育委員会
163	兜塚古墳遺跡発掘調査報告書	狛江市教育委員会
164	狛江市埋蔵文化財調査概報Ⅰ	狛江市教育委員会
165	東山南遺跡	目黒区教育委員会
166	中目黒遺跡C地点	目黒区教育委員会
167	ユネスコ世界遺産年報 4	社団法人日本ユネスコ協会連盟
168	埋蔵文化財調査報告13 平成9年度(1997年度)	練馬区教育委員会
169	平成7年度 葛飾区埋蔵文化財調査年報	葛飾区教育委員会
170	平成8年度 葛飾区埋蔵文化財調査年報	葛飾区教育委員会
171	紫又帝釈天遺跡 IX	葛飾区教育委員会
172	平成9年度 葛飾区埋蔵文化財調査年報	葛飾区教育委員会
173	柴又河川敷遺跡 IV	葛飾区遺跡調査会
174	本郷遺跡 VII	葛飾区遺跡調査会
175	年表・葛飾の歴史 古代・中世	葛飾区郷土と天文の博物館
176	博物館年報 第5号	葛飾区郷土と天文の博物館
177	鬼塚・鬼塚遺跡 V	葛飾区郷土と天文の博物館
178	都市と水田 -東京近郊の稲作技術-	葛飾区郷土と天文の博物館
179	博物館年報 第4号	葛飾区郷土と天文の博物館
180	花菖蒲 江戸の面影・堀切菖蒲園	葛飾区郷土と天文の博物館
181	伝中・上富士前Ⅱ	豊島区教育委員会
182	巢鴨町Ⅱ	豊島区教育委員会
183	伝中・上富士前Ⅰ	豊島区教育委員会
184	巢鴨Ⅱ	豊島区教育委員会
185	池袋本村Ⅰ	豊島区教育委員会
186	足立区北部の遺跡群	青山学院大学文学部
187	青山史学 第16号	青山学院大学文学部
188	財団法人 千葉市文化財調査協会年報8 平成6年度	(財)千葉市文化財協会
189	財団法人 千葉市文化財調査協会年報9 平成7年度	(財)千葉市文化財協会
190	財団法人 千葉市文化財調査協会年報10 平成8年度	(財)千葉市文化財協会
191	千葉市二仁名遺跡	(財)千葉市文化財調査協会
192	千葉市新田遺跡	(財)千葉市文化財調査協会
193	千葉市直道遺跡	(財)千葉市文化財調査協会
194	土気南遺跡群Ⅶ	(財)千葉市文化財調査協会
195	千葉市芳賀輪遺跡	(財)千葉市文化財調査協会
196	千葉市高品城跡Ⅰ	(財)千葉市文化財調査協会
197	千葉市染谷池遺跡・大森第1遺跡	(財)千葉市文化財調査協会
198	千葉市原町遺跡群発掘調査報告書Ⅱ	(財)千葉市文化財調査協会
199	土気南遺跡群Ⅴ	(財)千葉市文化財調査協会
200	海老遺跡	(財)千葉市文化財調査協会
201	千葉市園生貝塚	(財)千葉市文化財調査協会
202	千葉市原町遺跡群発掘調査報告書Ⅲ	(財)千葉市文化財調査協会
203	千葉市小中台A遺跡・牛尾外遺跡	(財)千葉市文化財調査協会
204	千葉市原町遺跡群発掘調査報告書Ⅰ	(財)千葉市文化財調査協会
205	小泉遺跡B地区	(財)山形市文化財センター
206	京寺遺跡	(財)山形市文化財センター
207	小野遺跡F区	(財)山形市文化財センター
208	山田新田Ⅰ遺跡	(財)山形市文化財センター
209	上岩ノ谷遺跡	(財)山形市文化財センター
210	谷台遺跡	(財)山形市文化財センター
211	長者台遺跡	(財)東総文化財センター
212	大道筋遺跡	(財)東総文化財センター
213	東総文化財センター年報2(平成5・6年度)	(財)東総文化財センター
214	東総文化財センター年報3(平成7・8年度)	(財)東総文化財センター
215	新城跡	(財)東総文化財センター
216	寒風城址	(財)東総文化財センター
217	傍示戸遺跡・城ノ台遺跡・新城跡	(財)東総文化財センター

	書名	寄贈者
218	(財)総南文化財センター年報 NO.10 平成7.8年度	(財)総南文化財センター
219	久原B横穴墓	(財)総南文化財センター
220	下手Ⅱ遺跡	(財)総南文化財センター
221	九ノ坪横穴墓群	(財)総南文化財センター
222	大崎台遺跡発掘調査報告Ⅳ	佐倉市教育委員会
223	貝塚博物館紀要 第25号	千葉県立加賀貝塚博物館
224	国府台 8	和洋女子大学文学資料館
225	国立歴史民俗博物館 要覧	国立歴史民俗博物館
226	歴博 90~93	国立歴史民俗博物館
227	陶磁器の文化史	国立歴史民俗博物館
228	萩の作遺跡発掘調査報告書Ⅱ	富津市教育委員会
229	平成9年度 富津市内遺跡発掘調査報告書	富津市教育委員会
230	七ノ城遺跡 -第2地点-	平塚市教育委員会
231	根坂間横穴墓B支群	平塚市教育委員会
232	中原	平塚市教育委員会
233	中原E遺跡	平塚市教育委員会
234	山王久保遺跡他	平塚市教育委員会
235	諏訪前B・大堀橋遺跡他	平塚市教育委員会
236	諏訪前B・高林寺	平塚市教育委員会
237	平成9年度 成田市内遺跡発掘調査報告書	成田市教育委員会
238	高野山南遺跡・西大久保遺跡・西野場遺跡	我孫子市教育委員会
239	チャミ遺跡	我孫子市教育委員会
240	木更津市内遺跡発掘調査報告書	木更津市教育委員会
241	塚原22号墳・62号墳	木更津市教育委員会
242	福神の世界	松戸市教育委員会
243	松戸市立博物館年報 第5号	松戸市立博物館
244	水戸道中 宿場と旅人	松戸市立博物館
245	松戸市立博物館紀要 第5号	松戸市立博物館
246	平成9年度 流山市市内遺跡発掘調査報告書	流山市教育委員会
247	千葉県習志野市埋蔵文化財分布地図	習志野市教育委員会
248	江戸時代の野田をいく	野田市郷土博物館
249	平成9年度 鎌ヶ谷市内遺跡発掘調査概報	鎌ヶ谷市教育委員会
250	鎌ヶ谷市郷土資料館年報 第11号	鎌ヶ谷市郷土資料館
251	鎌ヶ谷市史研究 第11号	鎌ヶ谷市教育委員会
252	一本松遺跡展	鎌ヶ谷市郷土資料館
253	一本松遺跡展	鎌ヶ谷市郷土資料館
254	第二峰峰遺跡群発掘調査概報	所沢市教育委員会
255	市内遺跡調査報告 4	所沢市教育委員会
256	屋敷前遺跡 -第1次調査-	所沢市教育委員会
257	吉野遺跡 -第7次調査-	所沢市教育委員会
258	山口城跡-第7次調査-・下安松遺跡-第4次調査-	所沢市教育委員会
259	所沢市立埋蔵文化財調査センター年報 3	所沢市立埋蔵文化財調査センター
260	市内遺跡調査Ⅰ	春日部市教育委員会
261	小瀬山下北遺跡 2次	春日部市教育委員会
262	竹之下遺跡	春日部市遺跡調査会
263	絵図・地図いろいろ	春日部市郷土資料館
264	館報 第6号	春日部市郷土資料館
265	泉水山・下ノ原遺跡 VII	朝霞市教育委員会
266	福向山東遺跡	朝霞市教育委員会
267	伊藤要家文書目録 伊藤好之介家文書目録	朝霞市教育委員会
268	あさかの絵馬と扁額 Ⅰ	朝霞市教育委員会
269	新郷川俣園所展	羽生市郷土資料館
270	駒崎の石造物	蓮田市教育委員会
271	宿下遺跡-第20調査地点- 宿上遺跡-第12調査地点-	蓮田市教育委員会
272	福作伝来 行田の米づくり二千年	行田市郷土博物館
273	平成10年度 要覧	鳩ヶ谷市立郷土資料館
274	ヒストリア・様名	(財)群馬県埋蔵文化財調査センター
275	ヒストリア・様名	(財)群馬県埋蔵文化財調査センター
276	中原遺跡群Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ	前橋市教育委員会
277	下新田中沖Ⅱ遺跡	前橋市教育委員会
278	下新田中沖遺跡	前橋市教育委員会
279	鳥取東原遺跡	前橋市教育委員会
280	山王若宮遺跡	前橋市教育委員会
281	平成9年度 市内遺跡発掘調査報告書	前橋市教育委員会
282	五代松平Ⅱ遺跡	前橋市教育委員会
283	川曲毘沙門前遺跡	前橋市教育委員会
284	上泉太郎三前遺跡	前橋市教育委員会
285	六供中京安寺遺跡・六供下堂木Ⅲ遺跡	前橋市教育委員会
286	芳賀東部団地遺跡	前橋市教育委員会
287	福荷遺跡	前橋市教育委員会
288	前橋市文化財調査報告書 第25集	前橋市教育委員会
289	鳥取福蔵寺遺跡	前橋市教育委員会
290	前橋市文化財調査報告書 第26集	前橋市教育委員会
291	上佐鳥中原前遺跡	前橋市教育委員会
292	原田篠遺跡Ⅲ	富岡市教育委員会
293	柴宮古墳群(富岡20号・21号・98号古墳)	富岡市教育委員会
294	南純井増光寺遺跡	富岡市教育委員会

	書名	寄贈者
295	芝宮古墳群	富岡市教育委員会
296	田中遺跡	渋川市教育委員会
297	若宮遺跡	渋川市教育委員会
298	渋川市内遺跡 X I	渋川市教育委員会
299	群馬県立歴史博物館紀要 第19号	群馬県立歴史博物館
300	縄文人の死と再生	高崎市総合考古資料館
301	上粕屋・三本松遺跡	伊勢原市教育委員会
302	祖ノ原遺跡第V地点第4次調査	大和市教育委員会
303	下鶴間城山	大和市教育委員会
304	下馬下遺跡第III地点	小田原市教育委員会
305	小田原城下 櫛干橋町遺跡第IV地点	小田原市教育委員会
306	平成7年度小田原市緊急発掘調査報告書	小田原市教育委員会
307	千代南原遺跡第VII地点試掘調査報告書	小田原市教育委員会
308	今井陣場跡・酒井陣場跡発掘調査報告書	小田原市教育委員会
309	川崎市市民ミュージアム紀要 第10集	川崎市市民ミュージアム
310	川崎市文化財調査集録 32	川崎市教育委員会
311	平塚市博物館年報 第21号	平塚市博物館
312	自然と文化	平塚市博物館
313	相模国府とその世界	平塚市博物館
314	東海大学校地内遺跡調査団報告8-1996年度-1	東海大学校地内遺跡調査団
315	注口土器の美	東海大学校地内遺跡調査団
316	埋蔵文化財発掘調査概報集 VI	横須賀市教育委員会
317	上土樹南遺跡第3次調査	綾瀬市教育委員会
318	藤沢市文化財調査報告書 第33集	藤沢市教育委員会
319	ひたちなか市埋蔵文化財調査センター年報 第3号	ひたちなか市埋蔵文化財調査センター
320	神明遺跡(第1次・第2次調査)	上高津貝塚ふるさと歴史の広場
321	上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第4号(平成9年度)	上高津貝塚ふるさと歴史の広場
322	上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第3号(平成8年度)	上高津貝塚ふるさと歴史の広場
323	根鹿北遺跡・栗山遺跡	上高津貝塚ふるさと歴史の広場
324	須恵器 一昔、土浦に須恵器の工人がいた。	上高津貝塚ふるさと歴史の広場
325	井戸山遺跡確認調査報告書	上高津貝塚ふるさと歴史の広場
326	古河歴史博物館年報 7	古河歴史博物館
327	土浦城二の丸・本丸試掘調査 発掘調査報告書	土浦市教育委員会
328	土屋家の風雅・大名と茶の湯	土浦市立博物館
329	土浦市立博物館年報 第10号 (1996)	土浦市立博物館
330	土浦市立博物館紀要 第8号 1997.3	土浦市立博物館
331	土浦市立博物館年報 第11号	土浦市立考古博物館
332	土浦市立博物館紀要 第7号	土浦市立考古博物館
333	年報 平成9年度	日立市郷土博物館
334	来迎寺遺跡II	三奈市教育委員会
335	秋津古川遺跡	両津市郷土博物館
336	平成9年度加茂市内遺跡確認調査報告書	加茂市教育委員会
337	平成8年度 加茂市内遺跡確認調査報告書	加茂市教育委員会
338	笹山遺跡発掘調査報告書	十日町市教育委員会
339	十日町市教育委員会 文化財課年報2	十日町市教育委員会
340	新弥生紀行 北の森から南の海へ	国立歴史民俗博物館
341	新発田城跡発掘調査報告書II	新発田市教育委員会
342	松木田・竹の花遺跡	村上市教育委員会
343	柏崎市立博物館 館報 第12号	柏崎市立博物館
344	NKH 長岡市立科学博物館報	長岡市立科学博物館
345	史跡 森将軍塚古墳	(財)更埴市文化振興事業団
346	八幡裏遺跡 I	上田市教育委員会
347	市内遺跡 IV	上田市教育委員会
348	上田原遺跡	上田市教育委員会
349	藤の木遺跡	上田市教育委員会
350	平成9年度 市内遺跡	上田市教育委員会
351	宮原遺跡	上田市教育委員会
352	西之手遺跡 II	上田市教育委員会
353	金鋒遺跡	上田市教育委員会
354	八幡裏遺跡 III	上田市教育委員会
355	浦田A・宮脇遺跡	上田市教育委員会
356	市内遺跡 VI	上田市教育委員会
357	金井裏遺跡 II	上田市教育委員会
358	古城遺跡	上田市教育委員会
359	下町田遺跡	上田市教育委員会
360	史跡上田城跡	上田市教育委員会
361	八幡裏遺跡 II	上田市教育委員会
362	市内遺跡 V	上田市教育委員会
363	大畑遺跡	上田市教育委員会
364	栗林遺跡発掘調査報告書	中野市教育委員会
365	西条・岩船遺跡発掘調査報告書	中野市教育委員会
366	牛出遺跡	中野市教育委員会
367	中野市の弥生土器	中野市教育委員会
368	上小田中遺跡発掘調査報告書	中野市教育委員会
369	牛出宮跡遺跡発掘調査報告書	中野市教育委員会
370	牛出城跡遺跡発掘調査報告書	中野市教育委員会
371	立ヶ花西原遺跡発掘調査報告書	中野市教育委員会

	書名	寄贈者
372	下穴虫遺跡 I	佐久市教育委員会
373	市内遺跡発掘調査報告書1996	佐久市教育委員会
374	曾根城遺跡II	佐久市教育委員会
375	中宿遺跡	佐久市教育委員会
376	佐久市埋蔵文化財年報6 平成8年度	佐久市教育委員会
377	根々井芝宮遺跡	佐久市教育委員会
378	西大久保遺跡III	佐久市教育委員会
379	梨の木遺跡	佐久市教育委員会
380	野馬久保遺跡II	佐久市教育委員会
381	割地遺跡	佐久市教育委員会
382	下境沢遺跡	塩尻市教育委員会
383	平出博物館 紀要 第15集	塩尻市立平出博物館
384	人の往来・物の往来	塩尻市立平出博物館
385	御柱尾根遺跡	富士見町教育委員会
386	梨原三本松遺跡	富士見町教育委員会
387	曾利遺跡	富士見町教育委員会
388	西山遺跡発掘調査報告書-第3次調査-	小山市教育委員会
389	榎垣外遺跡発掘調査報告書(概報)	岡谷市教育委員会
390	真下丸山・榎塚遺跡	岡谷市教育委員会
391	更埴奈里水田址高月地点遺跡	更埴市教育委員会
392	歴代城跡範囲確認調査報告書	更埴市教育委員会
393	坪山遺跡・判官塚古墳	更埴市教育委員会
394	平成9年度 更埴市埋蔵文化財調査報告書	更埴市教育委員会
395	諏訪南沖遺跡	更埴市教育委員会
396	大境遺跡 IV・V	更埴市教育委員会
397	平成元年度 更埴市埋蔵文化財調査報告書	更埴市教育委員会
398	平成5年度 更埴市埋蔵文化財調査報告書	更埴市教育委員会
399	荒井遺跡III・宮裏遺跡	更埴市教育委員会
400	大境遺跡 VI	更埴市教育委員会
401	城ノ内遺跡 IV	更埴市教育委員会
402	町浦遺跡 II	更埴市教育委員会
403	町浦遺跡	更埴市教育委員会
404	屋根瓦は変わった～信州の瓦谷と三州の渡り職人～	長野市立博物館
405	信濃国絵図の世界	長野市立博物館
406	長野県埋蔵文化財センター年報 13 1997	長野県埋蔵文化財センター
407	長野県埋蔵文化財センター年報 14 1996	長野県埋蔵文化財センター
408	長野県埋蔵文化財センター紀要 5 1996	長野県埋蔵文化財センター
409	長野県埋蔵文化財センター紀要 6 1997	長野県埋蔵文化財センター
410	常設展示図録	長野県立歴史館
411	中世の信濃	長野県立歴史館
412	原始時代のシナノ	長野県立歴史館
413	歴史館案内	長野県立歴史館
414	歴史館さんぽ	長野県立歴史館
415	東原遺跡発掘調査概要	飯山市教育委員会
416	東原遺跡	飯山市教育委員会
417	祭られた縄文の神 縄文人の心 -飯田・下伊那を中心に-	飯山市立考古博物館
418	越前発掘調査概報 I	敦賀市教育委員会
419	紀要 第13号	敦賀市立博物館
420	館蔵一品図録(続)	敦賀市立博物館
421	ふくい発掘最前線	福井県立博物館
422	福井県立博物館紀要 第6号	福井県立博物館
423	福井県立博物館紀要 第7号	福井県立博物館
424	福井県立博物館年報 第7号	福井県立博物館
425	福井市立郷土歴史博物館研究紀要 第6号	福井県立歴史博物館
426	高槻市文化財年報 平成8年度	高槻市教育委員会
427	鯖江の文化財	鯖江市
428	1997年 上野市埋蔵文化財年報4	上野市教育委員会
429	久米山48号墳発掘調査報告	上野市教育委員会
430	泥畑遺跡発掘調査報告書	上野市教育委員会
431	亀山市歴史博物館研究紀要 第2号	亀山市歴史博物館
432	名張の文化財 悠久の歴史に包まれて	名張市教育委員会
433	大西谷城跡	名張市遺跡調査会
434	下川原遺跡 5次調査概要	名張市遺跡調査会
435	北中寺遺跡 3	四日市市教育委員会
436	埋蔵文化財発掘調査概報 II	四日市市教育委員会
437	四日市市文化財保護年報8 -平成8年度-	四日市市教育委員会
438	公事出古墳群・公事出遺跡	四日市市教育委員会
439	津市埋蔵文化財センター年報 2	津市埋蔵文化財センター
440	四ツ野C遺跡発掘調査報告	津市教育委員会
441	山王遺跡	津市教育委員会
442	円通寺古墳 NA335号墓 I・II	(財)愛知県埋蔵文化財センター
443	東新堀遺跡	(財)愛知県埋蔵文化財センター
444	愛知埋蔵文化財情報 13	(財)愛知県埋蔵文化財センター
445	吉田城遺跡III	(財)愛知県埋蔵文化財センター
446	(財)愛知埋蔵文化財センター年報 平成9年度	(財)愛知埋蔵文化財センター
447	一色青海遺跡	(財)愛知埋蔵文化財センター
448	東河安賀遺跡	(財)愛知埋蔵文化財センター

	書名	寄贈者
449	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要 第5輯	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター
450	平成9年度 瀬戸市埋蔵文化財センター年報	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター
451	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要 第6輯	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター
452	一宮市博物館年報(5) 平成7・8年度	一宮市博物館
453	八幡市埋蔵文化財発掘調査概報 第24集	八幡市教育委員会
454	正木町遺跡	南山大学大学院考古学研究室
455	弥勒寺御申塚遺跡	南山大学大学院考古学研究室
456	名古屋大学古川総合研究資料館報告 第8号	名古屋大学年代測定センター
457	名古屋大学古川総合研究資料館報告 第14号	名古屋大学年代測定センター
458	Nagoya University Furukawa Museum Special Report No.7	名古屋大学考古学研究所
459	名古屋市博物館研究紀要 第21巻	名古屋博物館
460	名古屋市博物館年報 No.21	名古屋博物館
461	伊勢山中学校遺跡	名古屋教育委員会
462	曾池遺跡 第2次発掘調査報告書	名古屋教育委員会
463	埋蔵文化財調査報告書 28	名古屋教育委員会
464	埋蔵文化財調査報告書 27	名古屋教育委員会
465	見晴台教室 '97	名古屋見晴台考古資料館
466	名古屋見晴台考古資料館年報15	名古屋見晴台考古資料館
467	発掘された名古屋の5世紀	名古屋見晴台考古資料館
468	円通寺経塚	大府市教育委員会
469	歴史民俗資料館年報 9	大府市歴史民俗資料館
470	桜林遺跡	安城市教育委員会
471	本神遺跡	安城市教育委員会
472	小牧城下町発掘調査報告書	小牧市教育委員会
473	市内遺跡発掘調査報告書(VII)	小牧市教育委員会
474	長坂遺跡	尾張旭市教育委員会
475	木と民具	岡崎市郷土館
476	常滑市民俗資料館 研究紀要VI	常滑市教育委員会
477	経塚遺跡発掘調査報告書	新城市教育委員会
478	島田陣屋遺跡発掘調査報告書	新城市教育委員会
479	知多弥勒寺遺跡発掘調査報告	東海市教育委員会
480	大木之本遺跡第II地点発掘調査報告	東海市教育委員会
481	遺跡が語る豊川市の歴史 - 新出土品を中心として -	桜ヶ丘ミュージアム
482	桜ヶ丘ミュージアム年報 平成9年度	桜ヶ丘ミュージアム
483	江南市の文化財	江南市教育委員会
484	愛知県を中心とする鳥獣図の世界	江南市教育委員会
485	陶器展 - やきものにはびらく絵画 -	瀬戸市歴史民俗資料館
486	九州陶器展 - 柴田コレクションを中心に -	瀬戸市歴史民俗資料館
487	毘沙門遺跡・岡島遺跡	西尾市教育委員会
488	磯辺王塚古墳	豊橋市教育委員会
489	市場遺跡・市村島神社古墓群・牟呂王塚古墳	豊橋市教育委員会
490	さんまい貝塚	豊橋市教育委員会
491	水神古窯灰原	豊橋市教育委員会
492	水神貝塚(第2貝塚)	豊橋市教育委員会
493	水神遺跡	豊橋市教育委員会
494	築根遺跡・大海津遺跡(1)	豊橋市教育委員会
495	市道遺跡(III)	豊橋市教育委員会
496	リトルワールド年報 第20号 1997年度	野外民族博物館リトルワールド
497	瓦と喜怒哀楽	葵茶市やまの里から美術館
498	平成7・8年度 高浜市やきもの里から美術館年報	葵茶市やまの里から美術館
499	水掛渡古墳群C群	(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所
500	町田遺跡	(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所
501	上ノ池遺跡	(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所
502	焼塚遺跡B地点・五百司遺跡	(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所
503	研究紀要 第6号	(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所
504	静岡の原像をさぐる発掘調査報告書	(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所
505	静岡県埋蔵文化財調査研究所 年報 X VI	(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所
506	文化財年報 第9号	三島市教育委員会
507	中村分遺跡 天台B遺跡 台高C遺跡	三島市教育委員会
508	三島市埋蔵文化財発掘調査報告 VI	三島市教育委員会
509	西鬼ヶ窪遺跡発掘調査報告書	伊東市教育委員会
510	寺中遺跡	伊東市教育委員会
511	縄文巨大集落・山内丸山遺跡展	島田市博物館
512	落合遺跡	島田市教育委員会
513	平成9年度浜北市埋蔵文化財発掘調査報告書	浜北市教育委員会
514	大知波神鹿寺跡	湖西市教育委員会
515	焼津市歴史民俗資料館年報 12	焼津市歴史民俗資料館
516	焼津市歴史民俗資料館年報 11	焼津市歴史民俗資料館
517	藤枝市郷土博物館 文化財年報 平成8年度	藤枝市教育委員会
518	下飯田遺跡発掘調査報告書	藤枝市教育委員会
519	ふちゅーる NO.5	静岡市教育委員会
520	こまつくりの中の漁り・弥生農耕の周辺	静岡市立登呂博物館
521	静岡市立登呂博物館館報 8 -平成9年度-	静岡市立登呂博物館
522	登呂の弥生人 6	静岡市立登呂博物館
523	石原窪古墳群・石原窪1号墳	静岡県教育委員会
524	東大谷1号墳	静岡県教育委員会
525	有東遺跡	静岡県教育委員会

	書名	寄贈者
526	埋蔵文化財調査概要 平成9年度	(財)富山県文化振興財団
527	埋蔵文化財年報(9) 平成9年度	(財)富山県文化振興財団
528	富山考古学研究 -紀要創刊号-	(財)富山県文化振興財団
529	下村加茂遺跡	下村教育委員会
530	石のアクセサリー	富山県埋蔵文化財センター
531	新湊市埋蔵文化財分布調査報告書 I	新湊市教育委員会
532	氷見市埋蔵文化財分布調査報告 V 1997年度	氷見市教育委員会
533	県指定史跡阿尾城跡	氷見市教育委員会
534	氷見バイパス関連遺跡調査報告 IV	氷見市教育委員会
535	朝日山城跡	氷見市教育委員会
536	岡部文夫展 -北陸の風土をうたう-	氷見市立博物館
537	五十嵐久和展 -氷見町時代の作品を中心として-	氷見市立博物館
538	館蔵品展 I -氷見にゆかりの作家たち-	氷見市立博物館
539	水見を描く I	氷見市立博物館
540	村崎西一展 -氷見市内に残る作品を中心-	氷見市立博物館
541	布尾良策展 I -日展と校風会展出品を中心として-	氷見市立博物館
542	水見のさかなを描く	氷見市立博物館
543	水見の漁業と漁村のくらし	氷見市立博物館
544	小松均展 -氷見に残る作品を中心-	氷見市立博物館
545	加藤雨月展	氷見市立博物館
546	あおによし・しなざかる-平城京から越中へ-	氷見市立博物館
547	冬木清展	氷見市立博物館
548	陸田家文書 その五	氷見市立博物館
549	氷見市立博物館年報 第16号	氷見市立博物館
550	山下II遺跡発掘調査報告書	魚津市教育委員会
551	魚津市立博物館紀要 第4号	魚津市教育委員会
552	奥原峠遺跡	七尾市教育委員会
553	荒木田遺跡	小松市教育委員会
554	獅子頭	石川県立歴史博物館
555	石川県立歴史博物館年報 第6号 平成8.9年度版	石川県立歴史博物館
556	石川県立歴史博物館紀要 第11号	石川県立歴史博物館
557	永光寺の名	石川県立歴史博物館
558	合戦と武具	石川県立歴史博物館
559	釜屋谷B遺跡	輪島市教育委員会
560	西脇遺跡	輪島市教育委員会
561	金沢大学考古学紀要 24	金沢大学文学部考古学研究室
562	長田町遺跡・長町遺跡・穴水町遺跡	金沢市埋蔵文化財センター
563	平成9年度 金沢市埋蔵文化財調査年報	金沢市埋蔵文化財センター
564	金沢市押野西遺跡 II	金沢市埋蔵文化財センター
565	千木東遺跡	金沢市埋蔵文化財センター
566	近岡遺跡	金沢市埋蔵文化財センター
567	金沢市北塚遺跡 第14次	金沢市埋蔵文化財センター
568	機部東遺跡	金沢市埋蔵文化財センター
569	常林寺西洞古窯発掘調査報告書	(財)土佐市埋蔵文化財センター
570	須街天狗谷古墳群・天狗谷窯址群発掘調査報告書	松谷市埋蔵文化財センター
571	岐阜県各務原市遺跡詳細分布調査報告書	各務原市教育委員会
572	岐阜県各務原市遺跡地図	各務原市教育委員会
573	大藪西山1.2.3号窯発掘調査報告書	多治見市教育委員会
574	深山1号窯発掘調査報告書	多治見市教育委員会
575	大畑中根3号窯発掘調査報告書	多治見市教育委員会
576	大針塩井戸1号窯発掘調査報告書	多治見市教育委員会
577	北小木大谷洞31.32号窯発掘調査報告書	多治見市教育委員会
578	小名田西山3号窯発掘調査報告書	多治見市教育委員会
579	多治見市文化財保護センター研究紀要 第4号	多治見市文化財保護センター
580	荒川南遺跡	大垣市教育委員会
581	大垣市遺跡詳細分布調査報告書 -解説編-	大垣市教育委員会
582	平成9年度岐阜市内遺跡発掘調査報告書	岐阜市教育委員会
583	岐阜市北山3号墳	岐阜市教育委員会
584	岐阜県博物館報 第21号	岐阜県博物館
585	岐阜市博物館調査研究報告 第19号	岐阜県立博物館
586	美濃加茂市文化財調査集録 第3集	美濃加茂市教育委員会
587	秋月遺跡 第6次発掘調査概報	(財)岐阜市文化財振興事業団
588	和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報 5	(財)和歌山市文化財振興事業団
589	友田町遺跡 第2・3次発掘調査概報	(財)和歌山市文化財振興事業団
590	木ノ本川遺跡 第9次発掘調査概報	(財)和歌山市文化財振興事業団
591	中野遺跡 第2次発掘調査概報	(財)和歌山市文化財振興事業団
592	藤ノ森遺跡 第3次発掘調査概報	(財)和歌山市文化財振興事業団
593	和歌山市立博物館館報 13	和歌山市立博物館
594	紀州の歩み -考古と古建築の世界-	岩出町民俗資料館
595	海南市立歴史民俗資料館 館報 第15集	海南市歴史民俗資料館
596	海南地方における 家庭用品産業の歩み	海南市立歴史民俗資料館
597	横穴式石室のはじまり-口丹波を中心に-	亀岡市文化資料館
598	亀岡市文化資料館報 第5号	亀岡市文化資料館
599	昔の子どもの遊び	亀岡市文化資料館
600	花嫁のいろどり	亀岡市文化資料館
601	昔の遊びの風景 子供時代の記憶から	亀岡市文化資料館
602	魚田遺跡第3次発掘調査概報	京田辺市教育委員会

	書名	寄贈者
603	三山木地区特定土地面整理事業地内試掘調査報告書	京田辺市教育委員会
604	京都大学総合博物館年報 1998	京都大学総合博物館
605	京都大学総合博物館概要	京都大学総合博物館
606	京都市考古史料館年報 平成56年度	京都市考古史料館
607	京都市考古史料館年報 平成78年度	京都市考古史料館
608	洛中桃山陶器の世界-三条界隈出土-	京都市考古史料館
609	白米山古墳Ⅱ	加賀町古墳公園におき資料館
610	丹後の古代中世社会を探るⅡ	加賀町古墳公園におき資料館
611	丹後の古代中世社会を探るⅠ	加賀町古墳公園におき資料館
612	同志社大学歴史資料館館報 1996.1997年度	同志社大学歴史資料館
613	宇治名所図会 -旅へのいざない-	宇治市歴史資料館
614	福知山市文化財調査報告書 第36集	福知山市教育委員会
615	日本の青磁 三田の青磁	三田市教育委員会
616	日本の青磁 三田の青磁	三田市教育委員会
617	おっちゃん・おばちゃんのお古学	三田市教育委員会
618	さんだのいせき37~42・企画展28~35	三田市教育委員会
619	三田の文化財	三田市教育委員会
620	西野山・堀遺跡	上郡町教育委員会
621	白旗城跡	上郡町教育委員会
622	文化財シンポジウム 開かれた古墳時代のタイムカプセル 記録集	加古川市教育委員会
623	尼崎市内遺跡 復旧・復興事業に伴う発掘調査	尼崎市教育委員会
624	尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成5年度	尼崎市教育委員会
625	平成9年度 川西市発掘調査概要報告	川西市教育委員会
626	まんが 大上宇市	新宮町教育委員会
627	発掘された明石の歴史展 -明石原人と旧石器時代-	明石市立文化博物館
628	発掘された明石の歴史展 明石のやきもの	明石市立文化博物館
629	東アジアの古代屋瓦 -日本屋瓦の源流-	明石市立文化博物館
630	雲井遺跡(第8次調査)	神戸市教育委員会
631	本山遺跡(第22次調査)	神戸市教育委員会
632	住吉宮町遺跡(第17次・第18次調査)	神戸市教育委員会
633	平成7年度 神戸市埋蔵文化財年報	神戸市教育委員会
634	ひょうご復興の街から	神戸市立博物館
635	中垣内天神山・三味山古墳群	龍野市教育委員会
636	奥村麻寺	龍野市教育委員会
637	小神社の堂遺跡	龍野市教育委員会
638	平成9年度 (財)八尾市文化財調査研究会事業報告	(財)八尾市文化財調査研究会
639	(財)八尾市文化財調査研究会報告59	(財)八尾市文化財調査研究会
640	近世大坂の学問と八尾 俊徳丸物語の展開	(財)八尾市文化財調査研究会
641	(財)八尾市文化財調査研究会報告61	(財)八尾市文化財調査研究会
642	継体大王と渡来人	(財)枚方市文化財調査研究会
643	20年のあゆみ	(財)枚方市文化財調査研究会
644	新版図録・枚方の遺跡	(財)枚方市文化財調査研究会
645	枚方市文化財年報19(1997年度分)	(財)枚方市文化財調査研究会
646	八尾市内遺跡平成9年度発掘調査報告書Ⅰ	八尾市教育委員会
647	八尾市内遺跡平成9年度発掘調査報告書Ⅱ	八尾市教育委員会
648	八尾市立歴史民俗資料館報 平成七年・八年度	八尾市立歴史民俗資料館
649	研究紀要 第9号	八尾市立歴史民俗資料館
650	榎坂郷蔵人村の日々 中世村落の考古学	吹田市立博物館
651	高山右近とその時代	吹田市立博物館
652	北新町遺跡第4次発掘調査概要報告書	大東市教育委員会
653	メノコ遺跡発掘調査報告書	大東市教育委員会
654	田東山	大谷女子大学資料館
655	大陸文化へのまなざし	(財)大塚市文化財調査研究会
656	縄紋の祈り・弥生の心 -森の神から稲作の神へ-	大阪府立弥生文化博物館
657	卑弥呼の宝石箱 -ちよっとオシャレな弥生人-	大阪府立弥生文化博物館
658	縄紋の祈り・弥生の心 -森の神から稲作の神へ-	大阪府立弥生文化博物館
659	近つ飛鳥工房 人とかたち 過去・未来	大阪府立近つ飛鳥博物館
660	「装い」文化あれこれ	大阪府立近つ飛鳥博物館
661	大化の薄葬令 古墳のおわり	大阪府立近つ飛鳥博物館
662	平成9年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書	富田林市教育委員会
663	平成9年度 発掘調査概要	岸和田市教育委員会
664	田治米宮内遺跡の調査	岸和田市教育委員会
665	吉井遺跡	岸和田市教育委員会
666	河内国へのいざない -7~9世紀の中河内-	東大阪市立郷土博物館
667	柏原宿ガイドブック	柏原宿歴史館
668	田辺遺跡の鉄と銅	柏原市教育委員会
669	平野・大泉古墳群	柏原市教育委員会
670	柏原市所在遺跡発掘調査概報	柏原市教育委員会
671	智識寺	柏原市教育委員会
672	柏原市埋蔵文化財発掘調査概報 1997年度	柏原市教育委員会
673	奥山遺跡	柏原市教育委員会
674	田辺麻寺	柏原市教育委員会
675	田辺麻寺	柏原市教育委員会
676	大和川 古代からのメッセージ-船橋遺跡に遺されたモノとコト-	柏原市立歴史資料館
677	柏原市立歴史資料館館報 第9号	柏原市立歴史資料館
678	古代寺院の成立と展開-日本古代国家の成立を探る-V-	泉南市教育委員会
679	泉南市遺跡群発掘調査報告書XIV	泉南市教育委員会

	書名	寄贈者
680	泉南市遺跡群発掘調査報告書XV	泉南市教育委員会
681	関西大学博物館紀要 第4号	関西大学博物館
682	博物館資料図録	関西大学博物館
683	安満宮山古墳	高槻市立埋蔵文化財センター
684	史跡・今城塚古墳	高槻市立埋蔵文化財センター
685	天理参考館報 第11号	天理大学付属天理参考館
686	池内横穴墓群発掘調査報告書	天理大学文学部
687	神殿と神像 -古代ノレスチナの信仰-	天理大学考古学研究室
688	古事 天理大学考古学研究室紀要 第1冊	天理大学考古学研究室
689	古事 天理大学考古学研究室紀要 第2冊	天理大学考古学研究室
690	検野照武氏旧蔵資料目録2	天理大学附属天理参考館
691	文化財学報 第16集	奈良大学文学部
692	南郷畑遺跡	御所市教育委員会
693	鴨神遺跡 第5次発掘調査報告	御所市教育委員会
694	御所市社寺建築調査報告書	御所市教育委員会
695	安尾家文書目録	柏原市立歴史資料館
696	桜井市埋蔵文化財 1993年度発掘調査報告書	桜井市教育委員会
697	大福遺跡調査報告	桜井市教育委員会
698	桜井市平成7年度国庫補助による発掘調査報告書	桜井市教育委員会
699	桜井市埋蔵文化財 1992年度発掘調査報告書2	桜井市教育委員会
700	巖向遺跡100回調査記念 巖向遺跡はどこまでわかったか?	桜井市立埋蔵文化財センター
701	粟東町埋蔵文化財調査 1995年度年報Ⅱ	(財)栗東町文化財調査研究会
702	粟東町埋蔵文化財発掘調査 1996年度年報	(財)栗東町文化財調査研究会
703	大森御屋遺跡発掘調査報告書	八日市市教育委員会
704	建部城遺跡発掘調査報告書	八日市市教育委員会
705	平成6年度 市内遺跡発掘調査報告書	彦根市教育委員会
706	滋賀県指定史跡湖東焼窯場跡発掘調査報告書	彦根市教育委員会
707	神ノ木遺跡	彦根市教育委員会
708	山崎山城跡発掘調査報告書	彦根市教育委員会
709	段ノ東遺跡	彦根市教育委員会
710	山崎山城跡整備基本計画報告書	彦根市教育委員会
711	粟東の文化財 粟東町指定文化財四十年の歩み	粟東歴史民俗博物館
712	年報 平成9年度	粟東歴史民俗博物館
713	粟東歴史民俗博物館紀要 第4号	粟東歴史民俗博物館
714	湖国の地方新聞史 -里中文庫コレクションから-	粟東歴史民俗資料館
715	土田遺跡	滋賀県埋蔵文化財センター
716	特別史跡安土城跡-発掘調査の5年-	滋賀県安土城跡調査研究所
717	松尾寺遺跡・浄土寺遺跡	滋賀県教育委員会
718	堀部五・丸岡塚遺跡・春近遺跡・南小足遺跡	滋賀県教育委員会
719	屋中寺庭寺遺跡	滋賀県教育委員会
720	赤井湾遺跡	滋賀県教育委員会
721	柿堂遺跡	滋賀県教育委員会
722	法養寺遺跡 尼子南遺跡	滋賀県教育委員会
723	金森西遺跡	滋賀県教育委員会
724	野洲川左岸遺跡発掘調査報告書	滋賀県教育委員会
725	虎御前山遺跡	滋賀県教育委員会
726	北代遺跡	滋賀県教育委員会
727	出路遺跡・彦富城遺跡	滋賀県教育委員会
728	酒波三つ又遺跡	滋賀県教育委員会
729	室遺跡・空司遺跡・鴨田遺跡	滋賀県教育委員会
730	中兵衛遺跡	滋賀県教育委員会
731	大手前遺跡	滋賀県教育委員会
732	建部城遺跡	滋賀県教育委員会
733	黄金寺遺跡 後川遺跡	滋賀県教育委員会
734	太田遺跡発掘調査報告書Ⅱ	滋賀県教育委員会
735	御倉遺跡発掘調査報告書	滋賀県教育委員会
736	北郷里小遺跡 上寺地遺跡	滋賀県教育委員会
737	日置前遺跡Ⅱ	滋賀県教育委員会
738	長畑遺跡	滋賀県教育委員会
739	北代遺跡 上出B遺跡	滋賀県教育委員会
740	今市遺跡	滋賀県教育委員会
741	湯ノ部遺跡発掘調査報告書Ⅲ	滋賀県教育委員会
742	草津市 榎差遺跡発掘調査報告書	滋賀県教育委員会
743	上寺地遺跡 北郷里遺跡 法性寺遺跡 葛立遺跡	滋賀県教育委員会
744	尼子南遺跡	滋賀県教育委員会
745	大手前遺跡・上下遺跡	滋賀県教育委員会
746	湯ノ部遺跡発掘調査報告書Ⅱ	滋賀県教育委員会
747	正楽寺遺跡	滋賀県教育委員会
748	中屋遺跡	滋賀県教育委員会
749	尼子西遺跡2	滋賀県教育委員会
750	木村古墳群Ⅰ	滋賀県教育委員会
751	鴨田遺跡他・在士北遺跡	滋賀県教育委員会
752	灰塚山古墳群発掘調査報告書	滋賀県教育委員会
753	宮前遺跡発掘調査報告書	滋賀県教育委員会
754	南小足遺跡・常昌寺遺跡・大塚遺跡	滋賀県教育委員会
755	北郷里小遺跡 上寺地遺跡 中町遺跡	滋賀県教育委員会
756	金剛寺遺跡・川ノ口遺跡	滋賀県教育委員会

	書名	寄贈者
757	今川東遺跡	滋賀県教育委員会
758	中屋遺跡	滋賀県教育委員会
759	松尾遺跡・浄土寺遺跡	滋賀県教育委員会
760	内野遺跡 II	滋賀県教育委員会
761	上田上牧遺跡 I	滋賀県教育委員会
762	風呂流遺跡 2	滋賀県教育委員会
763	後川遺跡	滋賀県教育委員会
764	中屋遺跡・常衛遺跡	滋賀県教育委員会
765	高木・後川遺跡	滋賀県教育委員会
766	中兵庫遺跡	滋賀県教育委員会
767	南小足遺跡 鴨田遺跡	滋賀県教育委員会
768	南小足遺跡	滋賀県教育委員会
769	木ノ本町田古墳群発掘調査報告書	滋賀県教育委員会
770	下五反田遺跡	滋賀県教育委員会
771	中兵庫遺跡	滋賀県教育委員会
772	堀南遺跡 神ノ木遺跡	滋賀県教育委員会
773	建部下野遺跡	滋賀県教育委員会
774	大茂井遺跡 II 鴨田遺跡 IV	滋賀県教育委員会
775	粟津湖底遺跡第3貝塚	滋賀県教育委員会
776	大東遺跡 III・矢反田遺跡・中町遺跡	滋賀県教育委員会
777	桐生辻遺跡	滋賀県教育委員会
778	上田上牧遺跡 II	滋賀県教育委員会
779	内野遺跡 I	滋賀県教育委員会
780	人間文化 第4号	滋賀県立大学人間文化学部
781	斎額塚古墳	滋賀県立大学文学部
782	鹿深 -甲賀郡の歴史と文化-	滋賀県立安土城考古博物館
783	琵琶湖と中世の人々 信長以前・信長以後	滋賀県立安土城考古博物館
784	平成9年度 年報	滋賀県立安土城考古博物館
785	ムラの変貌 -福作と弥生文化-	滋賀県立安土城考古博物館
786	かつて、湖のほとり	滋賀県立安土城考古博物館
787	紀要 -間蔵5周年記念号- 第6号	滋賀県立安土城考古博物館
788	年報 第2号	滋賀県立琵琶湖博物館
789	絶滅と進化 動物化石が語る東アジア500年	滋賀県立琵琶湖博物館
790	能登川埋蔵文化財調査報告書 第45集	能登川町教育委員会
791	能登川埋蔵文化財調査報告書 第44集	能登川町教育委員会
792	平成7年度 草津市文化財年報	草津市教育委員会
793	下坂中町遺跡	長浜市教育委員会
794	北郷里小遺跡	長浜市教育委員会
795	川崎遺跡 I	長浜市教育委員会
796	藤立遺跡 II	長浜市教育委員会
797	町内遺跡 IV	高島町教育委員会
798	坂出市内遺跡発掘調査報告書	坂出市教育委員会
799	上母神8号古墳	観音寺市教育委員会
800	かがわ今昔 -歴史へのいざない-	香川県教育委員会
801	歴史博物館整備に伴う収蔵品目録 平成8年度	香川県教育委員会
802	源平合戦図録の世界	高松市歴史資料館
803	弘徳寺の名宝	高松市歴史資料館
804	高松市歴史資料館年報 平成9年度	高松市歴史資料館
805	高松市歴史資料館収蔵品目録~郷土玩具資料~	高松市歴史資料館
806	高松市歴史資料館収蔵品目録 ~民俗資料~	高松市歴史資料館
807	加茂野宮遺跡	三野町教育委員会
808	庄・蔵本遺跡 I	徳島大学埋蔵文化財調査室
809	徳島市埋蔵文化財調査概要8	徳島市教育委員会
810	三谷遺跡	徳島市教育委員会
811	徳島市埋蔵文化財発掘調査概要7	徳島市教育委員会
812	寄贈資料展	徳島市立徳島城博物館
813	徳島藩主歴代画像の世界	徳島市立徳島城博物館
814	鍮・兜・刀	徳島市立徳島城博物館
815	徳島市立徳島城博物館年報 第6号	徳島市立徳島城博物館
816	蜂須賀家の名宝	徳島市立徳島城博物館
817	遺物が語る 弥生人の顔	徳島市立考古資料館
818	阿波を語る	徳島市立考古資料館
819	徳島県立博物館研究報告 第8号	徳島県立博物館
820	徳島城	徳島県立博物館
821	徳島県立博物館年報 第7号	徳島県立博物館
822	海はむすぶ -人とモノの交流史-	徳島県立博物館
823	阿波海南 大里2号墳 発掘調査報告書	海南町立博物館
824	給戸遺跡	(財)高知県文化財団 埋蔵文化財センター
825	具同中山遺跡群 I	(財)高知県文化財団 埋蔵文化財センター
826	八田神母谷遺跡	(財)高知県文化財団 埋蔵文化財センター
827	山田三ツ又遺跡	(財)高知県文化財団 埋蔵文化財センター
828	栄工田遺跡	(財)高知県文化財団 埋蔵文化財センター

	書名	寄贈者
829	陣山遺跡・陣山北三区遺跡	(財)高知県文化財団 埋蔵文化財センター
830	小籠遺跡 III	(財)高知県文化財団 埋蔵文化財センター
831	田村遺跡群現地説明会資料	(財)高知県文化財団 埋蔵文化財センター
832	介良遺跡	(財)高知県文化財団 埋蔵文化財センター
833	飛田坂本遺跡	(財)高知県文化財団 埋蔵文化財センター
834	具同中山遺跡群 II-1	(財)高知県文化財団 埋蔵文化財センター
835	絵図の世界	安芸市立歴史民俗資料館
836	高知県埋蔵文化財センター年報 7 1997年度	高知県埋蔵文化財センター
837	高知県埋蔵文化財センター年報 6 1996年度	高知県埋蔵文化財センター
838	高知県埋蔵文化財センター年報 5 1995年度	高知県埋蔵文化財センター
839	糸山5号土坑墓・糸山ミカン谷遺跡・堀内城跡 II 次	高知県埋蔵文化財センター
840	中駄馬遺跡	高知県埋蔵文化財センター
841	湯築城跡	高知県埋蔵文化財センター
842	年報 平成9年度	愛媛県歴史文化博物館
843	愛媛銀行コレクション(古紙幣)	愛媛県歴史文化博物館
844	相原コレクション I (絵葉書・創刊雑誌)	愛媛県歴史文化博物館
845	研究紀要 第3号	愛媛県歴史文化博物館
846	純友と将門 -東西の兵乱-	愛媛県歴史文化博物館
847	柿木遺跡発掘調査報告書	松前町教育委員会
848	大峰ヶ代遺跡 II-9次調査-	松山市教育委員会
849	福音寺地区の遺跡 II	松山市教育委員会
850	石井・浮穴の遺跡	松山市教育委員会
851	和氣・堀江の遺跡 II	松山市教育委員会
852	朝日谷2号墳	松山市教育委員会
853	松山市埋蔵文化財調査年報 X	松山市教育委員会
854	重信町の文化財と史跡 第2集 平成9年度版	重信町教育委員会
855	拝志古家群 西地区報告書	重信町教育委員会
856	発掘された悠久の山陰	倉吉博物館
857	蔵見古墳群発掘調査報告書	福部村教育委員会
858	館報 入船山 第10号	呉市入船山記念館
859	広島大学総合移転地埋蔵文化財発掘調査年報 X V	広島大学施設部
860	草戸千軒町遺跡	福山市教育委員会
861	惣ヶ迫古墳	下松市教育委員会
862	下関の野鳥	下関図書館
863	長門国府跡	下関市教育委員会
864	日本の印象派 -明治末・大正初期の油彩画-	下関市立美術館
865	下関市立美術館所蔵品目録 III	下関市立美術館
866	下関市立美術館年報 平成7-8年度	下関市立美術館
867	石器展	小野田市歴史民俗資料館
868	山口県の博物館	山口県博物館協会
869	浦辺古墳群 大浦古墳群 梅ヶ崎古墳群 小郡開作経塚	山口県埋蔵文化財センター
870	大内氏関連町並遺跡	山口県埋蔵文化財センター
871	東禅寺・黒山遺跡 III	山口県埋蔵文化財センター
872	掘る みる わかる 城下町	山口県埋蔵文化財センター
873	岡田・江良遺跡	山口県埋蔵文化財センター
874	吉部田遺跡	山口県埋蔵文化財センター
875	平成6~9年度 重要遺跡確認緊急調査報告書	山口県教育委員会
876	山口県史研究 第6号	山口県 県史編さん室
877	館報21	山口県立山口博物館
878	弥生からのおくりもの	川中地区まちづくり協議会
879	図説 山口県の歴史	河出書房新社
880	美祿市歴史民俗資料館調査研究報告 第14号	美祿市歴史民俗資料館
881	湯町遺跡群 I	湯町町教育委員会
882	宮ヶ久保遺跡	阿東町教育委員会
883	小山遺跡第2地点発掘調査報告書	出雲市教育委員会
884	加茂岩倉遺跡発掘調査概要 II	加茂町教育委員会
885	出雲国風土記の研究 I	島根県古代文化センター
886	古代出雲の文化	島根県古代文化センター
887	古代出雲文化展 -神々の国 悠久の遺産-	島根県教育委員会
888	出雲神庭荒神谷遺跡	島根県教育委員会
889	青銅器の世界	徳島市立徳島城博物館
890	横路遺跡(土器土地区)	浜田市教育委員会
891	古市遺跡発掘調査報告書	浜田市教育委員会
892	横路遺跡(原井ヶ市地区)	浜田市教育委員会
893	倉敷埋蔵文化財センター年報 4	倉敷埋蔵文化財センター
894	湾戸7号墳	倉敷埋蔵文化財センター
895	たんけん! くらしきの古代	倉敷市埋蔵文化財センター
896	発掘くらしき わたしの町の遺跡展	倉敷市埋蔵文化財センター
897	備前焼紀年銘土型調査報告書	備前市教育委員会
898	津島岡大遺跡10~第9次調査一	岡山大学埋蔵文化財センター
899	岡山市埋蔵文化財調査の概要 1996(平成8)年度	岡山市教育委員会

	書名	寄贈者
900	造山第4号古墳	岡山市教育委員会
901	すくも山遺跡	岡山市教育委員会
902	岡山城内堀	岡山市教育委員会
903	史跡岡山城址本丸中の段発掘調査報告	岡山市教育委員会
904	総社市埋蔵文化財調査年報 8	総社市教育委員会
905	史跡門田貝塚環境整備事業報告書	邑久町教育委員会
906	小倉城跡2	(財)北九州市教育文化事業団
907	大島遺跡	(財)北九州市教育文化事業団
908	金丸遺跡2	(財)北九州市教育文化事業団
909	堺町遺跡2	(財)北九州市教育文化事業団
910	乙丸宮ノ下遺跡	(財)北九州市教育文化事業団
911	森山西遺跡Ⅲ区	(財)北九州市教育文化事業団
912	峠遺跡	(財)北九州市教育文化事業団
913	永犬丸遺跡群2	(財)北九州市教育文化事業団
914	金田遺跡	(財)北九州市教育文化事業団
915	潤崎遺跡6(第8地点)	(財)北九州市教育文化事業団
916	徳力土地地区面整理事業関係調査報告11	(財)北九州市教育文化事業団
917	金山遺跡0・Ⅳ区	(財)北九州市教育文化事業団
918	小倉城下屋敷跡	(財)北九州市教育文化事業団
919	上貫遺跡(C)1	(財)北九州市教育文化事業団
920	上貫遺跡(C)2	(財)北九州市教育文化事業団
921	研究紀要 第12号	(財)北九州市立教育文化事業団埋蔵文化財調査室
922	埋蔵文化財調査年報14 平成8年度	(財)北九州市立教育文化事業団埋蔵文化財調査室
923	鐘水古墳群	久留米市教育委員会
924	筑後国府跡 第146次調査	久留米市教育委員会
925	筑後国府跡 第146次調査	久留米市教育委員会
926	筑後国府跡 第148次調査	久留米市教育委員会
927	筑後国府跡 第149次調査	久留米市教育委員会
928	筑後国府跡 第151次調査	久留米市教育委員会
929	筑後国府跡・国分寺跡	久留米市教育委員会
930	平成9年度 久留米市内遺跡群	久留米市教育委員会
931	京隈小路遺跡 第2次調査	久留米市教育委員会
932	旗原遺跡	久留米市教育委員会
933	大宰府復元	九州歴史資料館
934	大宰府史跡	九州歴史資料館
935	九州歴史資料館 研究論集 23	九州歴史資料館
936	九州歴史資料館年報 平成9年度	九州歴史資料館
937	曲り田周辺遺跡 I	二丈町教育委員会
938	曲り田周辺遺跡 III	二丈町教育委員会
939	曲り田周辺遺跡 IV	二丈町教育委員会
940	曲り田周辺遺跡 V	二丈町教育委員会
941	蒜の原古墳群	二丈町教育委員会
942	大坪遺跡 I	二丈町教育委員会
943	矢風遺跡	二丈町教育委員会
944	早田遺跡	二丈町教育委員会
945	木舟・三本松遺跡	二条町教育委員会
946	木舟・三本松遺跡 II	二条町教育委員会
947	木舟・三本松遺跡 III	二条町教育委員会
948	大坪遺跡 II	二条町教育委員会
949	木舟の森遺跡	二条町教育委員会
950	伊都国発掘'98 王がいた証	伊都歴史資料館
951	辻の西遺跡(第2次調査)	八女市教育委員会
952	八女東部地区埋蔵文化財発掘調査概報 4	八女市教育委員会
953	高島遺跡	八女市教育委員会
954	川原川右岸地区遺跡群Ⅱ	前原市教育委員会
955	泊桂木遺跡	前原市教育委員会
956	福岡市前原市内遺跡地図	前原市教育委員会
957	小倉城跡 IV	北九州市教育委員会
958	冷水遺跡第2地点	北九州市教育委員会
959	片伊田遺跡X I 地区	北九州市教育委員会
960	天神遺跡	北九州市教育委員会
961	廣隆寺跡	北九州市教育委員会
962	中尾遺跡	北九州市教育委員会
963	乙丸遺跡第2地点	北九州市教育委員会
964	紅梅(A)遺跡第3地点	北九州市教育委員会
965	研究紀要 5	北九州市立考古博物館
966	北九州市立考古博物館年報 平成9年度	北九州市立考古博物館
967	西と東の縄文土器 -土器が語る縄文時代の日本列島-	北九州市立考古博物館
968	ミュージアム九州 第59号	博物館等建設推進九州会議
969	ミュージアム九州 第60号	博物館等建設推進九州会議
970	ミュージアム九州 第61号	博物館等建設推進九州会議
971	古賀町遺跡等分布地図	古賀市教育委員会
972	三田浦古墳	古賀市教育委員会
973	花見遺跡第4地点 高木・前田遺跡(2)	古賀市教育委員会
974	峠古墳群 I	古賀市教育委員会

	書名	寄贈者
975	夜須町史 抜粋	夜須町教育委員会
976	江藤遺跡	夜須町教育委員会
977	鬼神山遺跡	夜須町教育委員会
978	下町遺跡	夜須町教育委員会
979	大野城市の文化財 第30集	大野城市教育委員会
980	石勺遺跡Ⅲ	大野城市教育委員会
981	谷川・池田・池ノ上遺跡	大野城市教育委員会
982	後原遺跡 I 第1次~6次調査	大野城市教育委員会
983	太宰府・佐野地区遺跡群 VII	太宰府市教育委員会
984	成屋形古墳	太宰府市教育委員会
985	太宰府条坊跡 X	太宰府市教育委員会
986	表田遺跡	宇美町教育委員会
987	上角遺跡	宇美町教育委員会
988	上角遺跡	宇美町教育委員会
989	野坂新田	宗像市教育委員会
990	朝明山ノ口	宗像市教育委員会
991	名残 I	宗像市教育委員会
992	光岡辻ノ園	宗像市教育委員会
993	王丸長谷遺跡	宗像市教育委員会
994	浦谷古墳群 III	宗像市教育委員会
995	志摩町歴史資料館 常設展示案内	志摩町歴史資料館
996	支石墓が語るもの	志摩町歴史資料館
997	相島積石塚群	新宮町教育委員会
998	相島積石塚群	新宮町教育委員会
999	丹塗土器 -土器にみる弥生人の祈り-	春日市埋蔵文化財調査室
1000	上二貝塚	水巻町教育委員会
1001	勝浦北部丘陵遺跡群	津屋崎町教育委員会
1002	生家釘ヶ裏遺跡	津屋崎町教育委員会
1003	平成8年度生涯学習関連事業調査報告書 掘ったバケイロ	王塚裝飾古墳館
1004	上白井日吉古墳	福岡大学文学部考古学研究室
1005	多々良込田遺跡 IV	福岡市教育委員会
1006	入部 VII	福岡市教育委員会
1007	博多 61	福岡市教育委員会
1008	博多 62	福岡市教育委員会
1009	博多 63	福岡市教育委員会
1010	博多 64	福岡市教育委員会
1011	博多 65	福岡市教育委員会
1012	野芥遺跡 3	福岡市教育委員会
1013	福岡外環状道路埋蔵文化財調査報告書 4	福岡市教育委員会
1014	井尻B遺跡 6	福岡市教育委員会
1015	野方岩名隈1 藤崎12	福岡市教育委員会
1016	比恵遺跡群 26	福岡市教育委員会
1017	野芥遺跡 2	福岡市教育委員会
1018	下月隈C遺跡 2	福岡市教育委員会
1019	重要文化財 田日本生命保険株式会社九州支店 保存整備工事報告書	福岡市教育委員会
1020	飯氏古墳群B群第14号古墳	福岡市教育委員会
1021	有田・小田部 第30集	福岡市教育委員会
1022	吉武遺跡群 X	福岡市教育委員会
1023	板付周辺遺跡調査報告書 第19集	福岡市教育委員会
1024	鴻臚館跡 9	福岡市教育委員会
1025	有田・小田部 31	福岡市教育委員会
1026	雀居遺跡 4	福岡市教育委員会
1027	金武古墳群	福岡市教育委員会
1028	福岡市埋蔵文化財年報 11	福岡市教育委員会
1029	雄船隈遺跡 4	福岡市教育委員会
1030	吉塚 3	福岡市教育委員会
1031	吉塚 4	福岡市教育委員会
1032	吉塚遺跡 5	福岡市教育委員会
1033	吉塚 6	福岡市教育委員会
1034	和田B遺跡 II	福岡市教育委員会
1035	今山遺跡	福岡市教育委員会
1036	斐野B遺跡	福岡市教育委員会
1037	三宮遺跡群 3	福岡市教育委員会
1038	那珂遺跡群 21	福岡市教育委員会
1039	松木田遺跡群	福岡市教育委員会
1040	国道202号線今宿バイパス関係埋蔵文化財調査報告 VII	福岡市教育委員会
1041	比恵遺跡群 25	福岡市教育委員会
1042	那珂遺跡 20	福岡市教育委員会
1043	福岡外環状道路関係埋蔵文化財調査報告 5	福岡市教育委員会
1044	中商部 (5)	福岡市教育委員会
1045	箱崎遺跡5 蒲田部木原遺跡5	福岡市教育委員会
1046	箱崎 6	福岡市教育委員会
1047	手光於緑遺跡	福岡市教育委員会
1048	八並中原古墳群	福岡市教育委員会
1049	古内殿古墳群	福岡市教育委員会
1050	手光酒屋遺跡	福岡市教育委員会
1051	上穂波地区遺跡群 2	筑穂町教育委員会

	書名	寄贈者
1052	周防瀬西南沿岸地域の「縄文文化」	河田町教育委員会
1053	原田遺跡群	若宮町教育委員会
1054	小原古墳群	若宮町教育委員会
1055	国指定史跡 鹿毛馬神籠石	額田町教育委員会
1056	石木中高遺跡	三日月市教育委員会
1057	羽生遺跡Ⅱ	三日月町教育委員会
1058	羽生遺跡Ⅰ	三日月町教育委員会
1059	若宮原遺跡(2,3区)	佐賀市教育委員会
1060	東千布遺跡(5区)	佐賀市教育委員会
1061	坪の上遺跡Ⅰ	佐賀市教育委員会
1062	コマガリ遺跡	佐賀市教育委員会
1063	琵琶原遺跡Ⅱ	佐賀市教育委員会
1064	佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書 1993.1994年度	佐賀市教育委員会
1065	赤井手遺跡Ⅰ区・先立山遺跡Ⅰ区	佐賀市教育委員会
1066	修理田遺跡Ⅱ	佐賀市教育委員会
1067	牟田寄遺跡Ⅵ	佐賀市教育委員会
1068	久富遺跡・友貞遺跡・東千布遺跡	佐賀市教育委員会
1069	金立遺跡	佐賀市教育委員会
1070	日本の古墳 僕が調べた歴史の謎	佐賀県立博物館
1071	調査研究書 第19集	佐賀県立博物館・美術館
1072	調査研究書 第21集	佐賀県立博物館・美術館
1073	調査研究書 第22集	佐賀県立博物館・美術館
1074	年報 28	佐賀県立博物館・美術館
1075	八幡溜第Ⅱ遺跡(2)	唐津市教育委員会
1076	唐津市内遺跡確認調査(13)	唐津市教育委員会
1077	唐津市内遺跡確認調査(14)	唐津市教育委員会
1078	雲透遺跡(Ⅱ)	唐津市教育委員会
1079	武雄市内古窯跡群発掘調査報告書 V	武雄市教育委員会
1080	武雄市の文化財	武雄市教育委員会
1081	特別史跡 松浦鎮信陣跡 細川忠興陣跡	鎮西町教育委員会
1082	塩鶴遺跡	鎮西町教育委員会
1083	郷ノ浦町の文化財	岐波郷土館
1084	穂志倭人伝と一支国 -大陸との交渉-	長崎県教育委員会
1085	観城跡	長崎県教育委員会
1086	長崎県埋蔵文化財調査年報 5	長崎県教育委員会
1087	原の辻遺跡・安国寺前A遺跡・安国寺前B遺跡	長崎県教育委員会
1088	原の辻遺跡 上巻	長崎県教育委員会
1089	原の辻遺跡 下巻	長崎県教育委員会
1090	鶴田遺跡	長崎県教育委員会
1091	長崎県埋蔵文化財調査年報 Ⅲ	長崎県教育委員会
1092	車出遺跡	長崎県教育委員会
1093	興触遺跡	長崎県教育委員会
1094	原の辻遺跡・鶴田遺跡	長崎県教育委員会
1095	長崎県埋蔵文化財調査年報 VI	長崎県教育委員会
1096	原の辻遺跡	長崎県教育委員会
1097	鶴田遺跡	長崎県教育委員会
1098	百合畑古墳群・山ノ神古墳・志岐氏居館跡	長崎県教育委員会
1099	大浜遺跡	長崎県教育庁文化課
1100	石田城跡	長崎県教育庁文化課
1101	広平遺跡	長崎県教育庁文化課
1102	稗原遺跡Ⅰ	長崎県教育庁文化課
1103	棧原城跡調査報告書	長崎県教育庁文化課
1104	県内主要遺跡内容確認調査報告書 Ⅲ	長崎県教育庁文化課
1105	県内主要遺跡内容確認調査報告書 Ⅰ	長崎県教育庁文化課
1106	万才町遺跡	長崎県教育庁文化課
1107	伊木力遺跡Ⅰ	長崎県教育庁文化課
1108	伊木力遺跡Ⅱ	長崎県教育庁文化課
1109	黒丸遺跡Ⅰ	長崎県教育庁文化課
1110	黒丸遺跡Ⅱ	長崎県教育庁文化課
1111	中木場遺跡Ⅲ	長崎県教育庁文化課
1112	県内重要遺跡範囲確認調査報告書Ⅳ	長崎県教育庁文化課
1113	県内重要遺跡範囲確認調査報告書Ⅴ	長崎県教育庁文化課
1114	宇久松原遺跡	長崎県教育庁文化課
1115	長崎奉行書(立山役所)跡	長崎県教育庁文化課
1116	稗原遺跡Ⅱ	長崎県教育庁文化課
1117	宮下貝塚	長崎県教育庁文化課
1118	長戸鬼塚古墳	長崎県教育庁文化課
1119	大石原遺跡	長崎県教育庁文化課
1120	馬乗石遺跡	長崎県教育庁文化課
1121	曲古墓群	長崎県教育庁文化課
1122	頭ヶ島白浜遺跡	長崎県教育庁文化課
1123	桜町遺跡	長崎県教育庁文化課
1124	沖城跡	長崎県教育庁文化課
1125	蒲河遺跡	長崎県教育庁文化課
1126	上ノ原平原A遺跡	中津市教育委員会
1127	福島遺跡入垣地区(Ⅲ) 定留遺跡向地区	中津市教育委員会
1128	中津城下町遺跡 京町 御用屋敷跡	中津市教育委員会

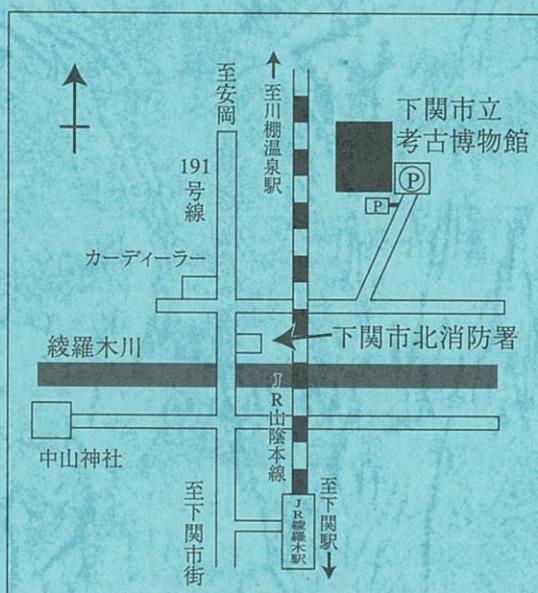
	書名	寄贈者
1129	尾首遺跡・市第Ⅴ遺跡	久住町教育委員会
1130	天祐館遺跡	佐伯市教育委員会
1131	櫻野古墳	佐伯市教育委員会
1132	石への折り・庶民信仰	国東町歴史民俗資料館
1133	かわじ池遺跡	大分県教育委員会
1134	二本木遺跡	大分県教育委員会
1135	日田市高瀬遺跡群の調査 2	大分県教育委員会
1136	佐寺原遺跡・尾瀬遺跡群・有田塚ヶ原古墳群	大分県教育委員会
1137	大分県の前方後円墳	大分県教育委員会
1138	中津バイパス埋蔵文化財調査報告書(5)	大分県教育委員会
1139	大分県 埋蔵文化財年報6	大分県教育委員会
1140	豊の国・おおいの歴史と文化 -くらしと折り-	大分県立歴史博物館
1141	あまがせの文化財	天瀬町教育委員会
1142	一ノ瀬古墳群	安岐町教育委員会
1143	吉松市場遺跡	安岐町教育委員会
1144	両子寺開運遺構	安岐町教育委員会
1145	光広遺跡	安岐町教育委員会
1146	安旨遺跡	安岐町教育委員会
1147	史跡 人吉城跡Ⅵ	人吉市教育委員会
1148	阿高城跡	城南町教育委員会
1149	新御堂遺跡	城南町教育委員会
1150	熊本博物館館報 10	熊本博物館
1151	熊本大学埋蔵文化財調査年報4 -1997年度-	熊本大学埋蔵文化財調査室
1152	五丁中原遺跡	熊本市教育委員会
1153	つつじヶ丘横穴群	熊本市教育委員会
1154	要覧 第7号(平成10年度版)	熊本県立装飾古墳館
1155	今どきの考古学 熊本考古速報展	熊本県立装飾古墳館
1156	平成9年度 研究紀要 第3集	熊本県立装飾古墳館
1157	佐賀県・長崎県の装飾古墳	熊本県立装飾古墳館
1158	佐賀県・長崎県の装飾古墳	熊本県立装飾古墳館
1159	川本末雄展	玉名市立歴史博物館こびア
1160	吉田家コレクション調査報告書	玉名市立歴史博物館こびア
1161	玉名市立歴史博物館紀要 第1号	玉名市立歴史博物館こびア
1162	博物館年報 2	玉名市立歴史博物館こびア
1163	新城跡	高尾野町教育委員会
1164	みやぎき歴史文化館年報 平成8年度	みやぎき歴史文化館
1165	京園遺跡	宮崎市教育委員会
1166	大町遺跡	宮崎市教育委員会
1167	二月田遺跡・宇字遺跡	宮崎市教育委員会
1168	椎屋形第1遺跡・椎屋形第2遺跡・上の原遺跡	宮崎市教育委員会
1169	宮崎県総合博物館 年報 平成9年度	宮崎県総合博物館
1170	市内遺跡発掘調査概要報告書Ⅲ	西部市教育委員会
1171	平成9年度 西都原古墳研究所・年報 第14号	西部市教育委員会
1172	鶴鳴遺跡	都城市教育委員会
1173	下郡山・新村B遺跡 荘貝塚	出水市教育委員会
1174	椿ノ原遺跡	加尾田市文化財センター
1175	川内市歴史資料館年報 平成8年度	川内市歴史資料館
1176	鹿児島県埋蔵文化財調査年報12 平成8年度	鹿児島県埋蔵文化財調査室
1177	滝ノ上火薬製造所跡	鹿児島市教育委員会
1178	祇園之洲砲台跡	鹿児島市教育委員会
1179	鹿児島市立ふるさと考古歴史館常設展示図録	鹿児島市教育委員会
1180	鹿屋城址(Ⅱ)遺跡	鹿屋市教育委員会
1181	鹿屋城址(Ⅰ)遺跡	鹿屋市教育委員会
1182	宮ヶ原遺跡	鹿屋市教育委員会
1183	谷平(Ⅶ)遺跡	鹿屋市教育委員会
1184	中ノ原(Ⅳ)遺跡	鹿屋市教育委員会
1185	ぎのわん市の戦跡	宜野湾市教育委員会
1186	平良市の文化財	平良市教育委員会
1187	読谷村立歴史民俗資料館紀要 第22号	読谷村立歴史民俗資料館
1188	読谷村立歴史民俗資料館年報 第23号	読谷村立歴史民俗資料館
1189	銘苅原遺跡	那覇市教育委員会
1190	京釜高速鉄道 大田捨土場・永岡橋修築予定敷地 考古・民俗調査報告	忠南大学校博物館
1191	鶏足山城	忠南大学校博物館
1192	天安長山里遺蹟	忠南大学校博物館
1193	牙山国家工團 忠南富谷地区 考古・民俗調査報告書	忠南大学校博物館
1194	特別展示図録	忠南大学校博物館
1195	大田 鳳鳴・長島 土地區劃整理事業地區内 考古・民俗調査報告	忠南大学校博物館
1196	神袴城	忠南大学校博物館

利用ご案内

開館時間 午前9時30分から午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日
12月28日～1月4日

入館料 一般 200円(160円)
高・大学生 100円(80円)
小・中学生 50円(40円)
※()内は30名以上の団体料金



下関市立考古博物館年報 4

— 平成10年度 —

発行日 1999年3月31日

編集発行 下関市立考古博物館

〒751-0866

山口県下関市大字綾羅木字岡454

TEL 0832-54-3061

FAX兼 0832-54-3062

印刷 有限会社アカマ印刷

